



『第11回熊取町公民館・町民会館整備検討委員会会議』  
～第4回基本設計策定委員会～

■次第

議事事項1 基本設計（案）について

- ① 公民館・ホールの概要について
- ② 公民館・ホールの施設計画について
- ③ 公民館・ホールの外観計画について

議事事項2 その他

■資料

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 資料1   | 公民館の計画概要・ホールの計画概要  |
| 資料2-1 | 7月6日時点の基本設計図からの変更点 |
| 資料2-2 | ホールの平面計画の検討過程      |
| 資料3   | 外観計画について           |

■別紙

- |     |              |
|-----|--------------|
| 資料4 | 基本設計図        |
| 資料5 | 7月6日時点の基本設計図 |

## 公民館の計画概要

### (1) 設計方針

- ・乳幼児から高齢者までの多世代の方々の「日常の居場所」となる施設として、既存の公民館の改修を行う。
- ・町民の方々の文化・活動の「学びの場」、「はぐくみの場」として施設を計画する。
- ・バリアフリーをはじめ、ユニバーサルデザインに配慮した計画とすることで、誰もが利用しやすい施設とする。
- ・施設の老朽化や耐震診断の結果を踏まえて、耐震補強を行い、安心安全な施設を計画する。
- ・既存施設の構造体や設備を活かした合理的な計画とする。

### (2) 建築概要

- ・延床面積 1,295.1 ㎡(地階 78.7 ㎡・1階 402.5 ㎡・2階 396.0 ㎡・3階 396.0 ㎡・塔屋階 21.9 ㎡)
- ・建築面積 531 ㎡
- ・最高高さ 17.23m
- ・最高軒高 11.63m
- ・主要用途 町民の日常の居場所・各団体の活動の場
- ・主要な諸室
  - 文化交流ラウンジ(多世代の憩いの場)
  - まなびのルーム(自習室)
  - 文化創造室(音楽活動や創作活動をはじめ様々な活動に対応可能な室)×2室
  - 創作室(陶芸をはじめとする様々な創作活動に対応可能な室)
  - 料理室
  - 講座室 ×2室
  - 和室(茶道にも対応可能な設え)
  - 電気釜室
  - 事務室
  - 打合せ室
  - トイレ(洋式)
  - バリアフリースイイレ
  - 赤ちゃんケア室
  - エレベーター(11人)
  - その他(給湯室・倉庫等)

### (3) 構造概要について

- ・構造形式 鉄筋コンクリート造(既存建物)+鉄骨造(エレベーター棟・新設庇)
- ・耐震補強の方法 鉄筋コンクリート壁を増設する計画とし、耐震性を向上する計画とする。

### (4) 設備概要について

- ・照明設備 LED照明とする。
- ・受変電設備 隣接する老人福祉センターと共用中のキュービクルを更新する計画とする。
- ・空気調和設備 間取り変更に伴い部屋の区画が変更する場合は機器等を更新する計画とする。
- ・衛生器具設備 和式トイレは洋式トイレに更新する計画とする。

## ホールの計画概要

### (1) 設計方針

- ・「文化芸術活動の拠点」となるホールを計画する。
- ・日常的にも利用できるホールとして  
「様々な活動が生まれる居心地のよい 場づくり」「日常のにぎわいの延長線上にあるハレの場づくり」を行う。
- ・有事の際には災害拠点となる役場と連携し、支援活動拠点となる施設計画を行う。
- ・またユニバーサルデザインに配慮した計画とし、誰もが使いやすい施設とする。

### (2) 建築概要

- ・延床面積 1,498.8 m<sup>2</sup>(1階 1118.3 m<sup>2</sup>・2階 324.4 m<sup>2</sup>・3階 56.1 m<sup>2</sup>)
- ・建築面積 1,330 m<sup>2</sup>
- ・最高高さ 12.2m
- ・主要用途 音楽ホールをメインとした多目的ホール
- ・主要な諸室
  - 客席
  - 舞台
  - ホワイエ
  - ギャラリー
  - 事務室
  - トイレ(洋式)
  - 調整室
  - バリアフリーストイレ
  - 赤ちゃんケア室
  - 楽屋(洋室)×2室
  - リハーサル室(音楽スタジオ)
  - その他：倉庫、ピアノ庫

### (3) ホール概要

- ・ホール形式 シューボックス型ホール
- ・ホール面積
  - 客席面積 : 約 260 m<sup>2</sup>
  - 主舞台+袖舞台 : 約 210 m<sup>2</sup>
- ・ホール客席数 380席(固定席 376席+車椅子利用者区画 4席)
- ・舞台寸法
  - 舞台間口 : 14.6m(約 8間)
  - 舞台奥行き : 7.6～8.6m(約 4間)
  - プロセニウム高さ : 6.4m
- ・残響時間(想定)
  - 音楽会形式空席時(舞台・客席幕無し・舞台側方反射板閉鎖・椅子あり) : 1.5秒
  - 講演会形式(舞台客席幕あり・舞台側方反射板開放・椅子あり) : 1.1秒
- ・室内騒音(暗騒音) NC-30 目標(500Hz)

### (4) 構造概要について

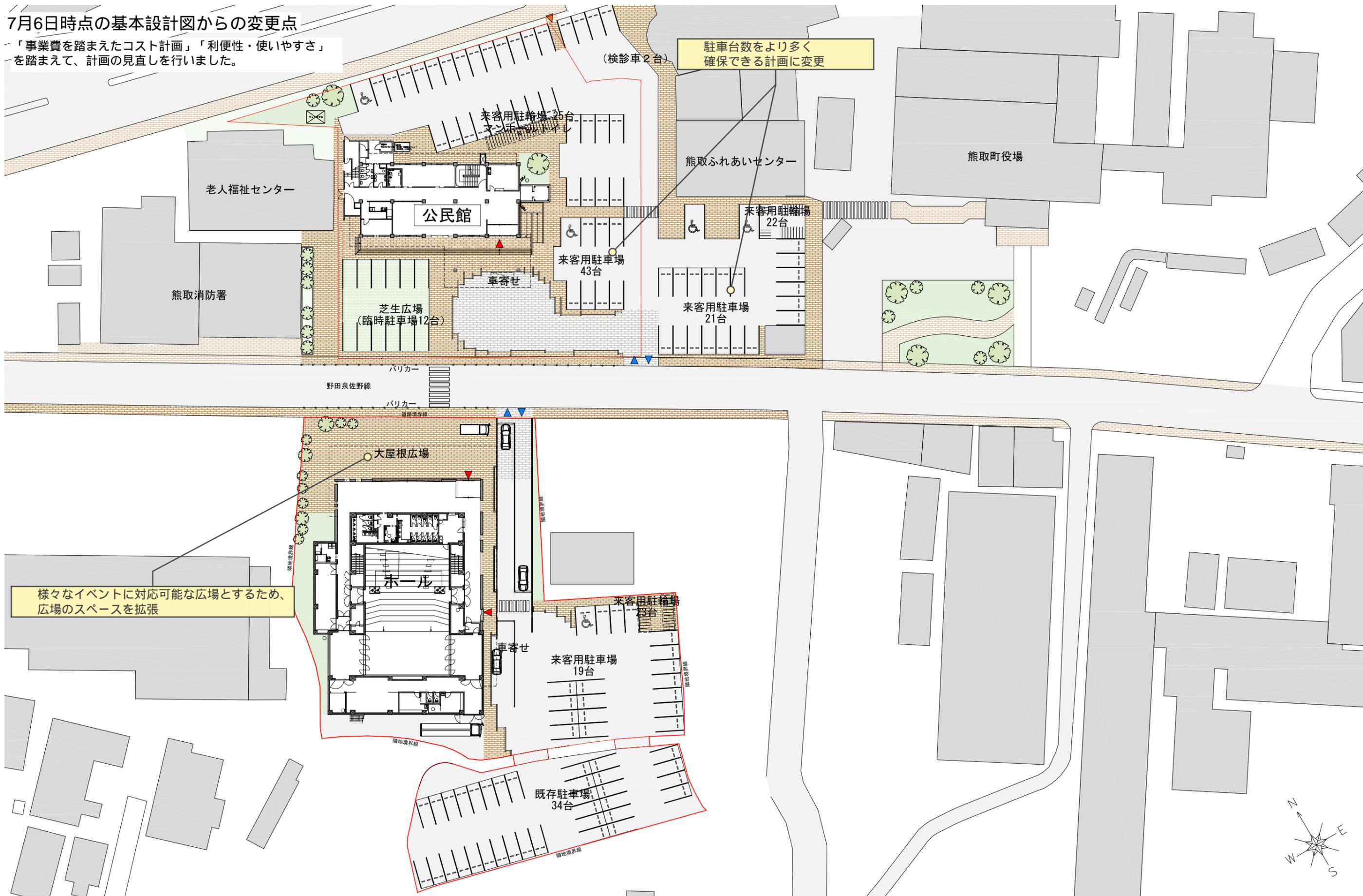
- ・構造形式 鉄筋コンクリート造+一部鉄骨造(ホワイエ・ギャラリー及び大屋根の梁)

### (5) 設備概要について

- ・照明設備 LED照明とする。非常時においては非常照明が30分間、点灯する計画とする。
- ・受変電設備 キュービクルを設置し、高圧幹線を引き込む計画とする。
- ・太陽光発電設備 10kWの太陽光発電システムを設置し、ホワイエやギャラリー、事務室等の常時使用室の電灯・コンセント設備を賄える計画とする。
- ・空調熱源方式 空調熱源方式はインシヤルコスト・ランニングコストの観点から「電気」の計画とする。
- ・空調吹出方式 優良な音場環境を実現するため、「壁吹き出し方式」の計画とする。
- ・衛生器具設備 洋式トイレとする。

7月6日時点の基本設計図からの変更点

「事業費を踏まえたコスト計画」「利便性・使いやすさ」を踏まえて、計画の見直しを行いました。



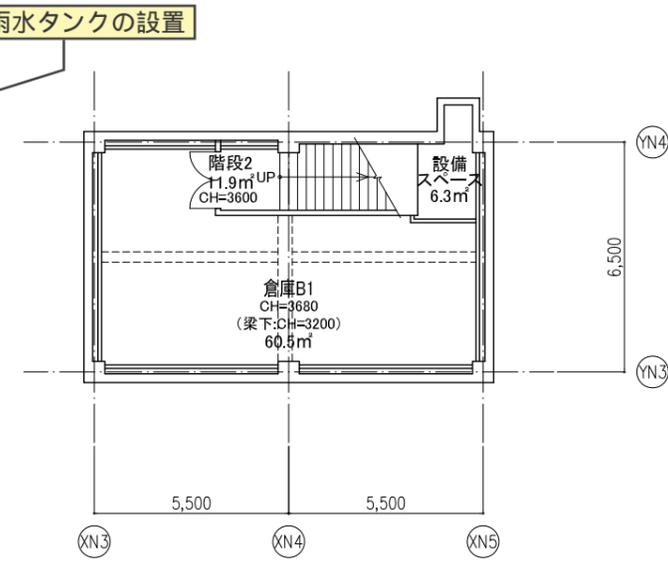
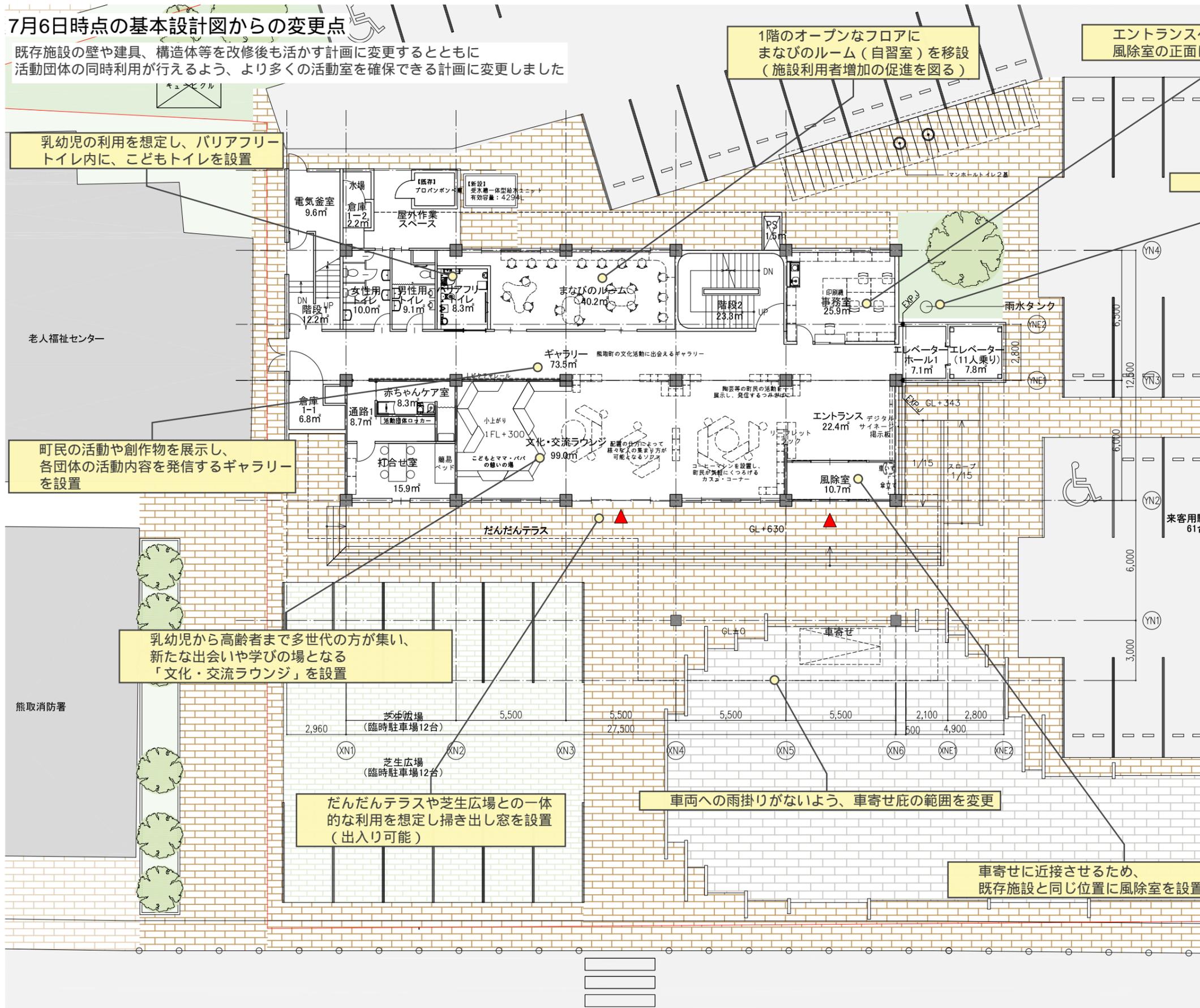
様々なイベントに対応可能な広場とするため、広場のスペースを拡張

駐車台数をより多く確保できる計画に変更

配置図兼1階平面図 S:1/600 (A3)

7月6日時点の基本設計図からの変更点

既存施設の壁や建具、構造体等を改修後も活かす計画に変更するとともに活動団体の同時利用が行えるよう、より多くの活動室を確保できる計画に変更しました



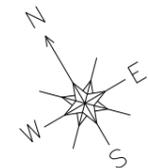
地階平面図

1階面積表

階室名	面積 (㎡)
文化・交流ラウンジ	99.0
まなびのルーム	40.2
事務室	25.9
風除室	10.7
エントランス	22.4
ギャラリー	73.5
赤ちゃんケア室	8.3
女性用トイレ1	10.0
男性用トイレ1	9.1
バリアフリートイレ	8.3
打合せ室	15.9
通路1	8.7
倉庫1-1	6.8
倉庫1-2	2.2
階段1	12.2
階段2	23.3
電気釜室	9.6
エレベーターホール1	7.1
エレベーター	7.8
PS等(ダクトスペース類)	1.5
合計	402.5

地階面積表

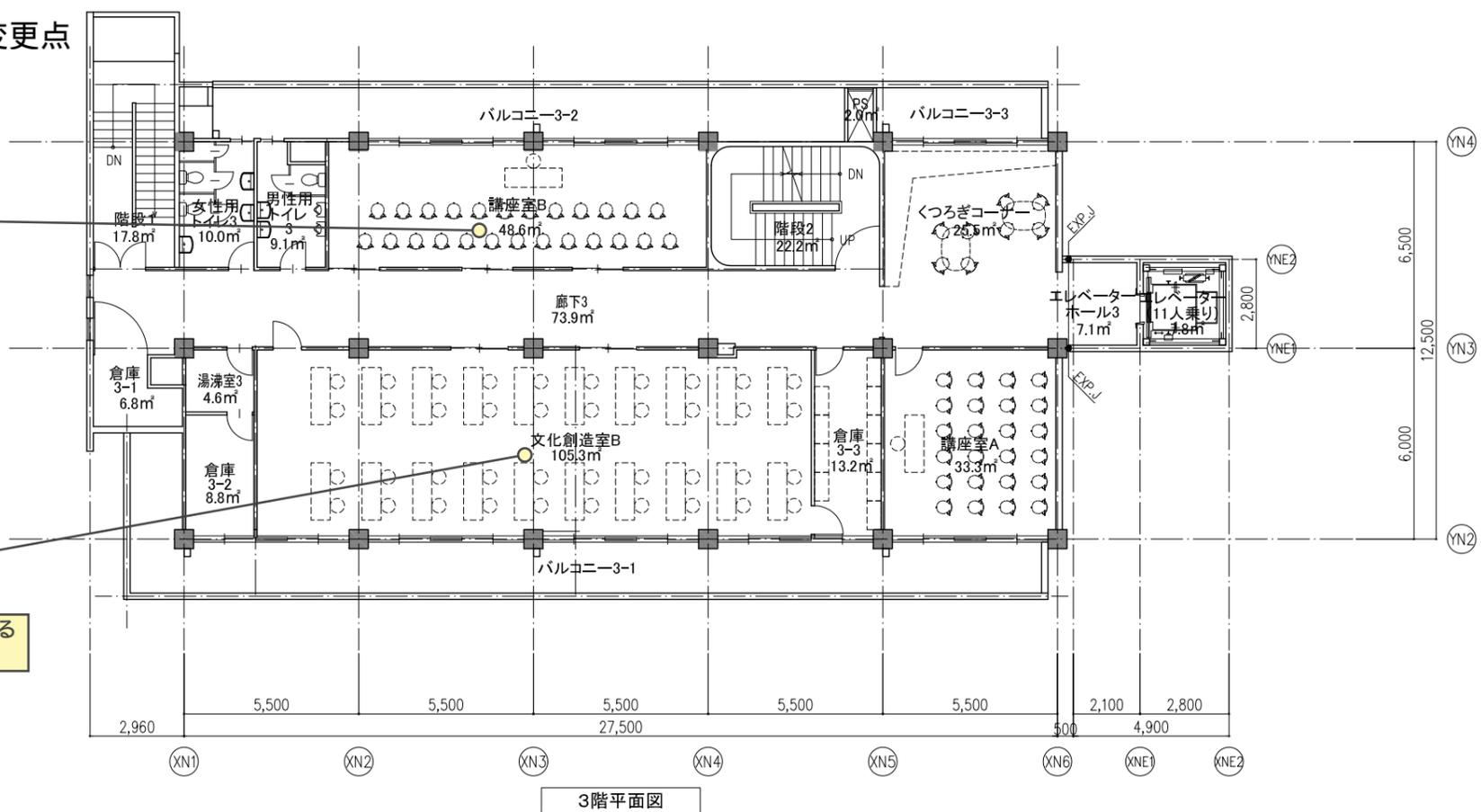
階室名	面積 (㎡)
倉庫B1	60.5
階段2	11.9
設備スペース	6.3
合計	78.7



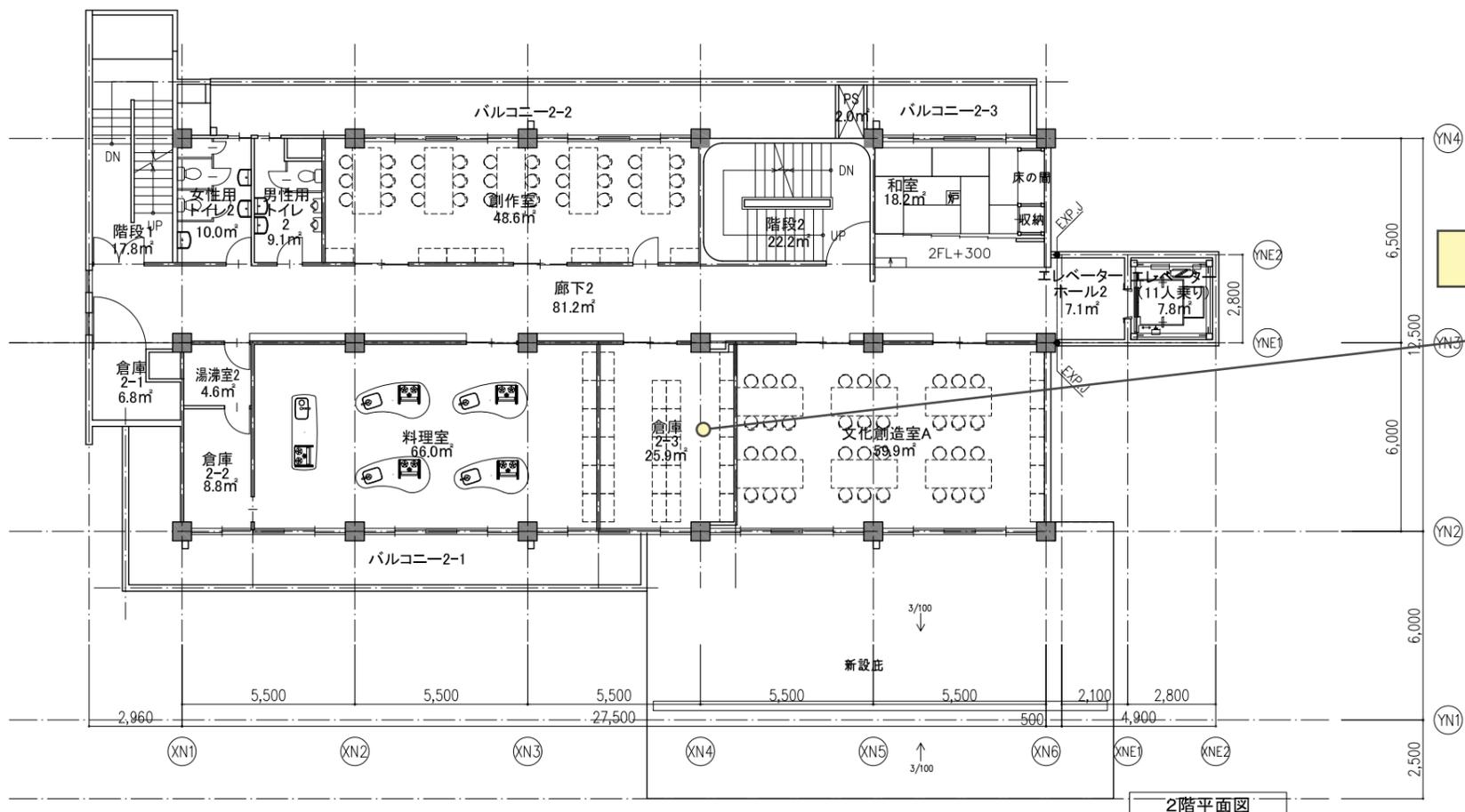
7月6日時点の基本設計図からの変更点

各団体の同時利用を可能とするため  
3階に講座室Bを追加  
(まなびのルームを1階に移動)

多様な活動内容に対応可能な計画とする  
ため部屋の大きさを拡張

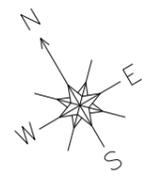


諸室名	面積 (㎡)
講座室A	33.3
講座室B	48.6
文化創造室B	105.3
くつろぎコーナー	25.5
廊下3	73.9
女性用トイレ3	10.0
男性用トイレ3	9.1
倉庫3-1	6.8
倉庫3-2	8.8
倉庫3-3	13.2
湯沸室3	4.6
階段1	17.8
階段2	22.2
エレベーターホール3	7.1
エレベーター	7.8
PS等 (ダクトスペース類)	2.0
合計	396.0



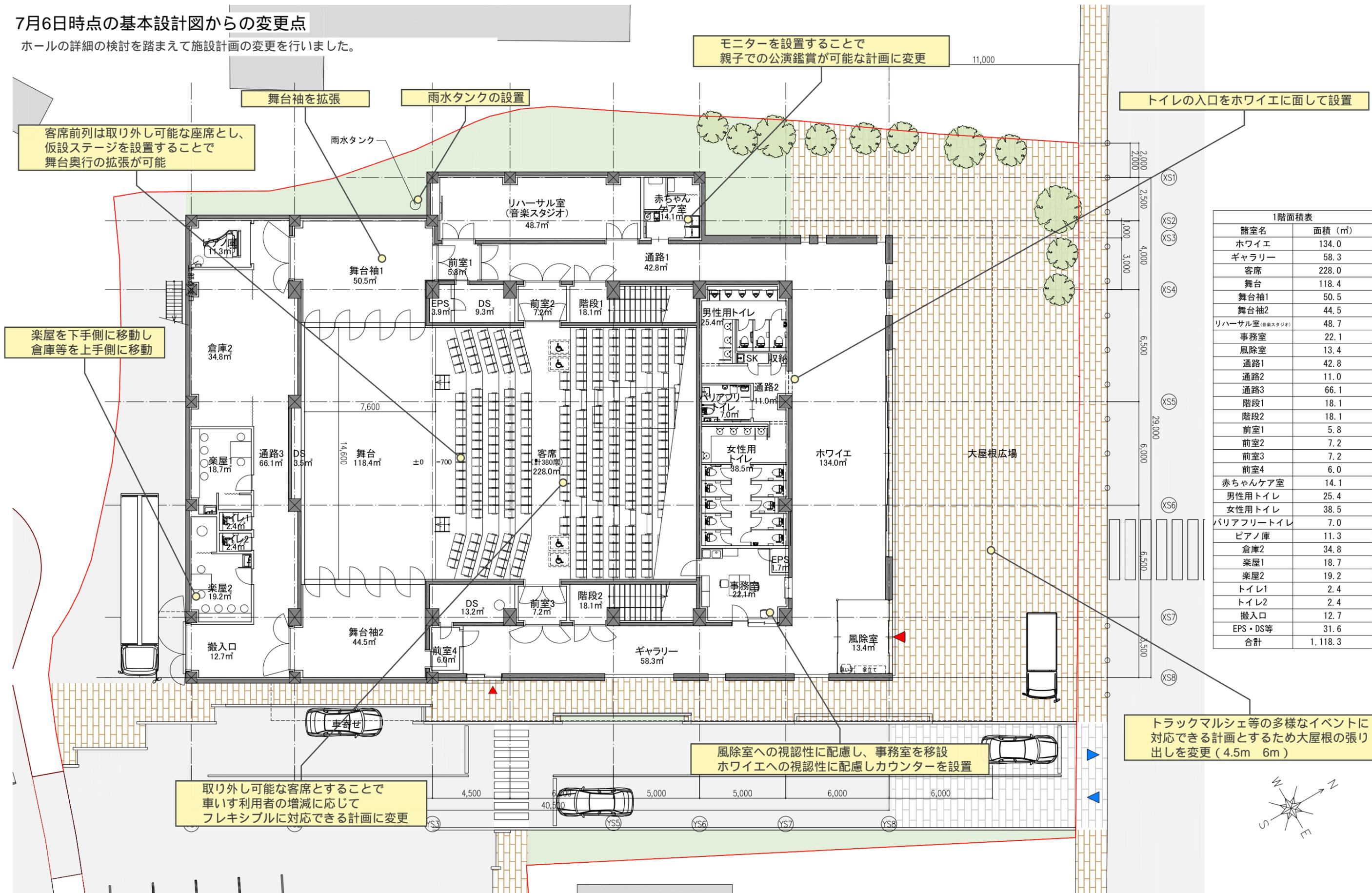
活動に使用する備品等の収納量の向上のため  
倉庫の面積を拡張

諸室名	面積 (㎡)
文化創造室A	59.9
創作室	48.6
料理室	66.0
和室	18.2
廊下2	81.2
湯沸室2	4.6
女性用トイレ2	10.0
男性用トイレ2	9.1
倉庫2-1	6.8
倉庫2-2	8.8
倉庫2-3	25.9
階段1	17.8
階段2	22.2
エレベーターホール2	7.1
エレベーター	7.8
PS等 (ダクトスペース類)	2.0
合計	396.0



7月6日時点の基本設計図からの変更点

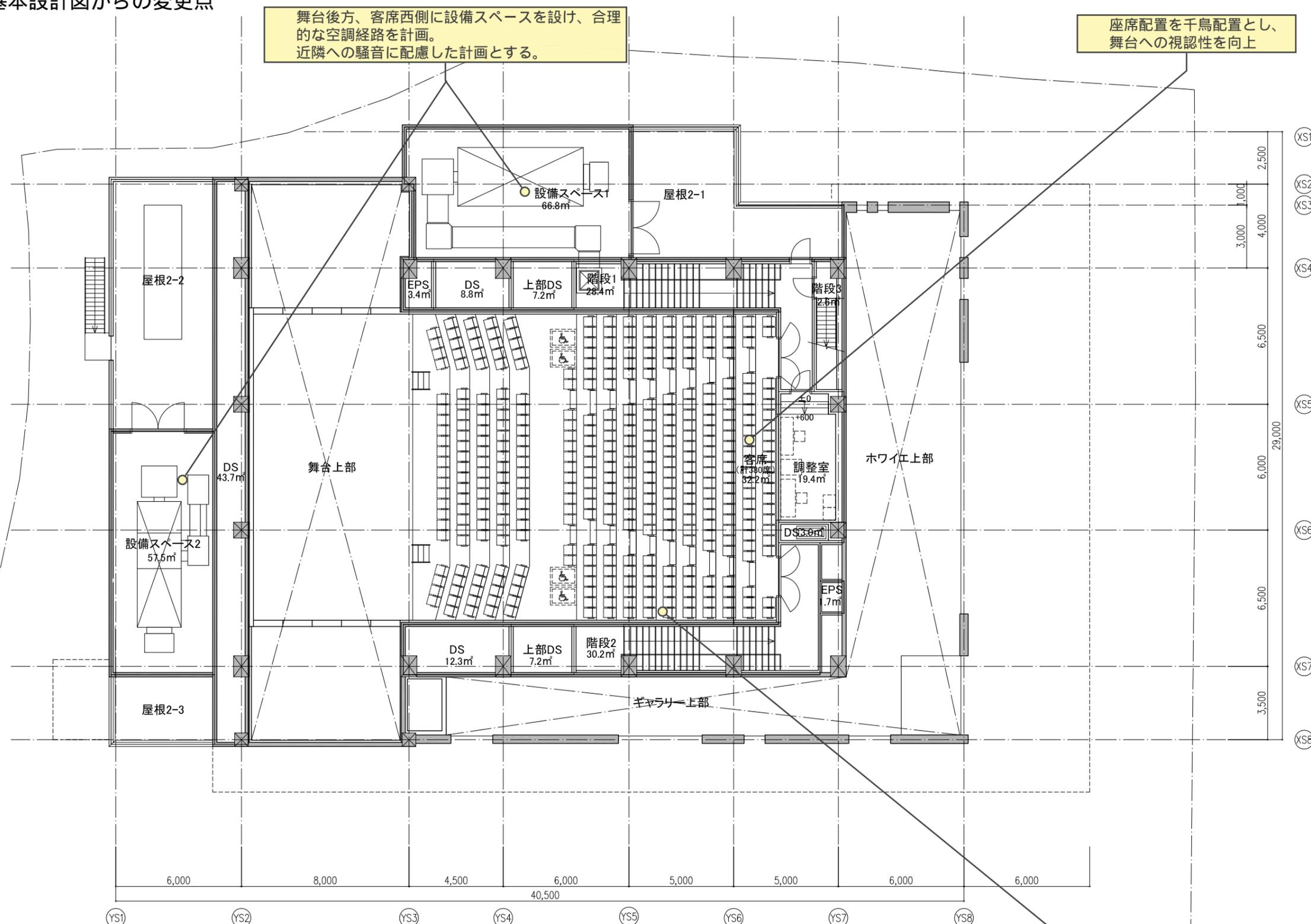
ホールの詳細の検討を踏まえて施設計画の変更を行いました。



諸室名	面積 (㎡)
ホワイエ	134.0
ギャラリー	58.3
客席	228.0
舞台	118.4
舞台袖1	50.5
舞台袖2	44.5
リハーサル室(音楽スタジオ)	48.7
事務室	22.1
風除室	13.4
通路1	42.8
通路2	11.0
通路3	66.1
階段1	18.1
階段2	18.1
前室1	5.8
前室2	7.2
前室3	7.2
前室4	6.0
赤ちゃんケア室	14.1
男性用トイレ	25.4
女性用トイレ	38.5
バリアフリートイレ	7.0
ピアノ庫	11.3
倉庫2	34.8
楽屋1	18.7
楽屋2	19.2
トイレ1	2.4
トイレ2	2.4
搬入口	12.7
EPS・DS等	31.6
合計	1,118.3

ホール1階平面図 S:1/200 (A3)

7月6日時点の基本設計図からの変更点



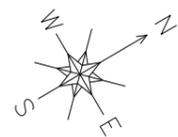
舞台後方、客席西側に設備スペースを設け、合理的な空調経路を計画。近隣への騒音に配慮した計画とする。

座席配置を千鳥配置とし、舞台への視認性を向上

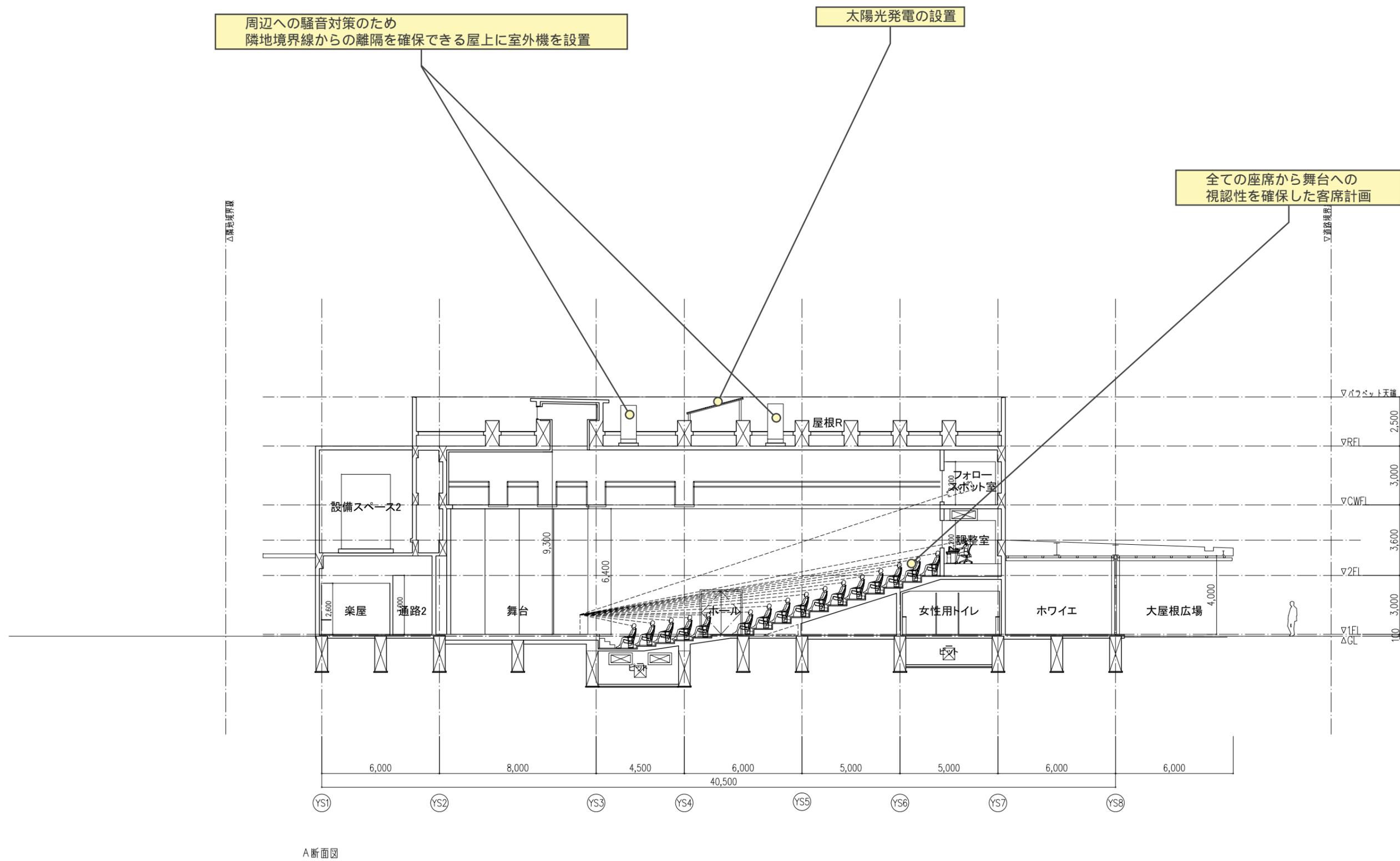
客席中段部の横通路を取りやめ、舞台への視認性を向上

2階面積表

階室名	面積 (㎡)
客席	32.2
階段1	28.4
階段2	30.2
階段3	2.6
調整室	19.4
設備スペース1	66.8
設備スペース2	57.5
DS・EPS等 (ダクトスペース)	87.3
合計	324.4

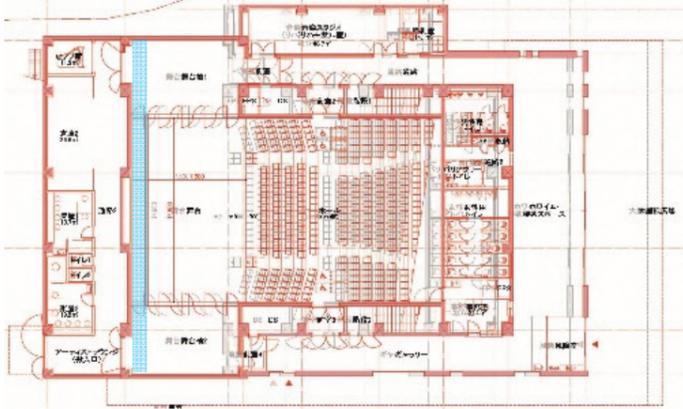
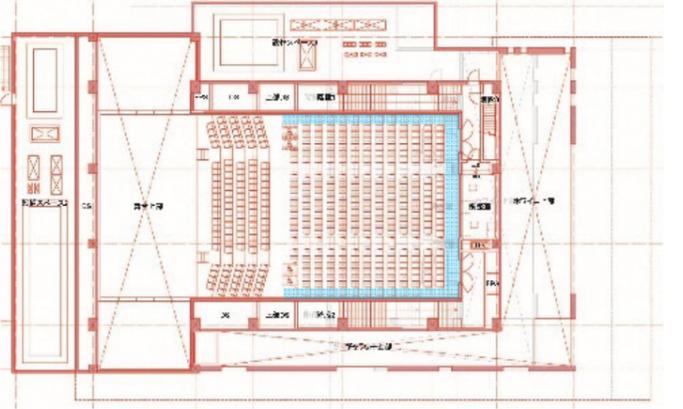
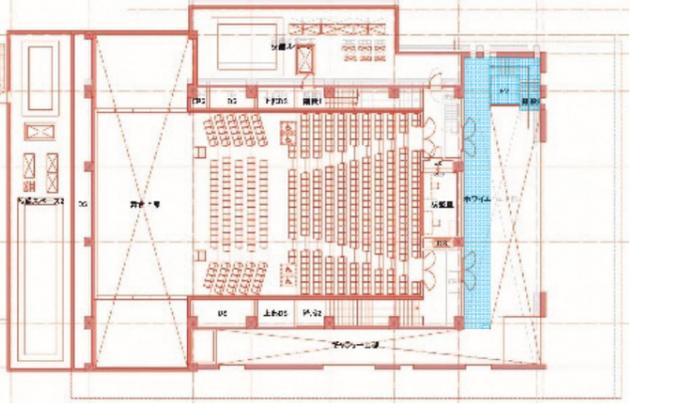


7月6日時点の基本設計図からの変更点



A断面図

## ホールの平面計画の検討過程

	「舞台裏通路を配置する」場合		「客席両端に縦通路を配置する」場合		「ホワイエに階段を配置する」場合	
図面						
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>扉の開閉が減るので、外部音が舞台に入りにくい</li> <li>舞台袖が広がる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>縦通路から各席までの距離が短くなる</li> <li>縦通路の壁に沿って手すりの設置が可能</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>閉演後の退出者の利用が少なくなるため、通路の混雑が緩和される</li> <li>階段1をホワイエに移動することで、面積減+倉庫の設置が可能となる</li> </ul>	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>通路スペース確保のため、約1.2mの幅のスペースが必要（面積増）</li> <li>屋外広場が1.2m小さくなる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>客席数確保のため、約3m(2列と横通路)拡げる必要がある</li> <li>屋外広場が3m小さくなる</li> <li>傾斜が小さくなるため、前の人の頭で視線が遮られる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>階段・EV・ホワイエの面積が増加</li> <li>EV・階段を設置するため1階ホワイエのスペースが縮小</li> <li>ホワイエに階段を設ける場合、階段が主動線と見做され福祉のまちづくり条例の基準よりEVの設置が必要</li> <li>大屋根レベルが高位となり外部建具が大きくなりコスト増となる</li> </ul>	
面積	31.8㎡増 (1階：1.2m×26.5m=31.8㎡増)		106.5㎡増 (1階：3m×29m=87㎡増) (2階：3m×6.5m=19.5㎡増)		33㎡増 (1階：14㎡減) (2階：47㎡増)	
コスト	<b>【直接工事費】</b> 約1800万円増 (31.8㎡×約58万円/㎡=約1800万円)	<b>【経費・消費税込】</b>  <b>約2400万円増</b>	<b>【直接工事費】</b> 約9000万円増 (面積：106.5㎡×約58万円/㎡=約6200万円) (1500㎡を超えるため屋内消火栓を設置：約2800万円)	<b>【経費・消費税込】</b>  <b>約1億2000万円増</b>	<b>【直接工事費】</b> 約5000万円増 (面積：33㎡×約58万円/㎡=約1900万円) (外壁：約1100万円) (EV：約2000万円)	<b>【経費・消費税込】</b>  <b>約7000万円増</b>

## 外観計画について

熊取町らしさを表現するデザイン

熊取町らしさを表現するホールとするため、熊取町の歴史や自然、文化をリサーチし外観デザインへの反映を試みる。  
下記に歴史・自然・文化・産業というキーワードから抽出される要素を示し、その要素を生かすことで生まれる外観計画を検討する。

## 歴史

## ○中家住宅

大屋根による外観デザインや、茅葺屋根と瓦葺屋根の切り替えが特徴的



## 自然

## ○隈取られた地形

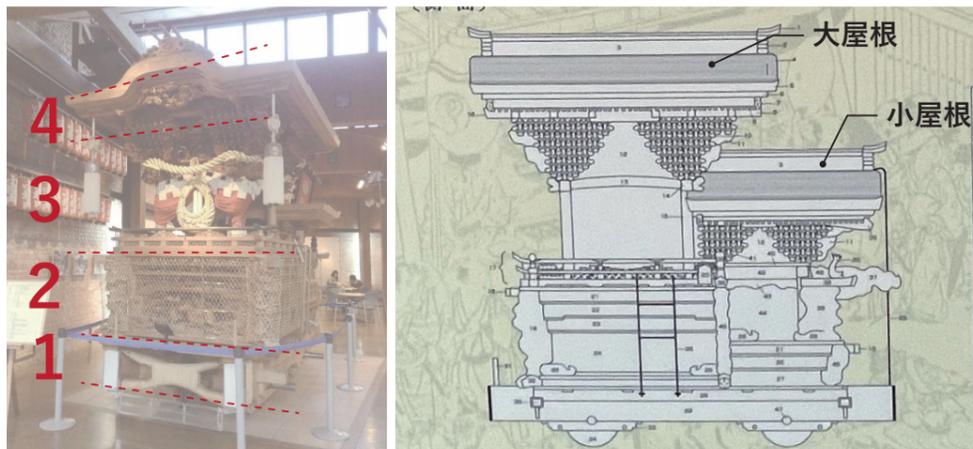
熊取町の名前の由来…周囲を山地、丘陵でクマドリ(ぼかしや濃淡を入れる日本画の表現技法)された谷、あるいは盆地地形とされる



## 文化

## ○だんじり

正面から見ると足元から大屋根まで大きく4層の構成  
大屋根と小屋根が組み合わさった構成



## 産業

## ○綿業が盛んなまち

熊取町の中心産業として発展してきた織物業  
煉瓦館…主要産業であった綿業を支えていた綿布工場



外観計画について（ホール）

「熊取町らしさ」と施設コンセプトを表現する外観

「熊取町らしさ」を表現するため、「歴史・自然・文化・産業」の要素を取り込んだデザインとするとともに、施設コンセプトである「人・活動・文化がまじわる はぐくむ つむぐ場」ならびに文化芸術拠点としての「重厚感」を表現する外観デザインを示す

歴史・文化

中家住宅の空間構成  
[内外部の連続性(土間・建具)]  
大屋根・垂木

産業

煉瓦  
織物にみられるパターンデザイン

自然

建物の輪郭をぼかす操作  
(外壁の設置方法・大屋根の設置)

上記の要素を用いて下記を表現

熊取町らしさ

施設コンセプト  
「人・活動・文化がまじわる はぐくむ つむぐ場」

文化芸術拠点としての  
重厚感

まちの歴史的建築物(中家住宅)を参照した空間構成



大屋根

土間

内外部の連続性

建具

未来に引き継ぐまちの遺伝子



中家住宅 垂木

煉瓦館 煉瓦

重厚感の演出



陰影が現れる RC 打放しの壁

壁のスリットから漏れる光

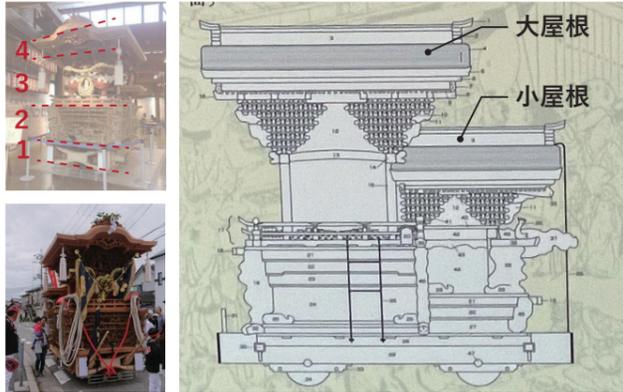
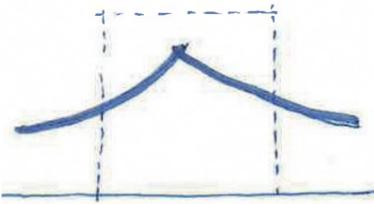
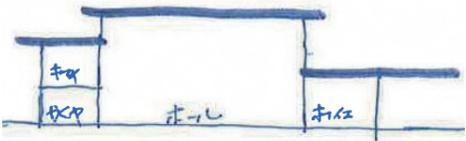
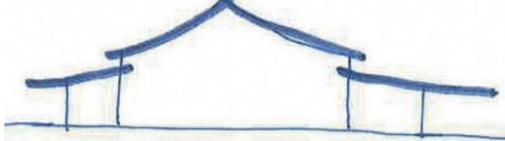
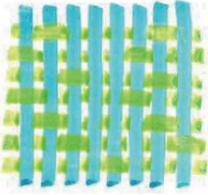
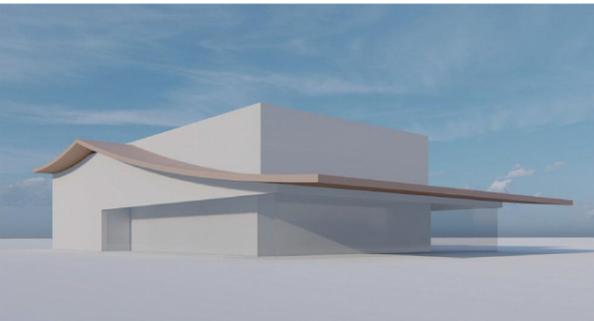
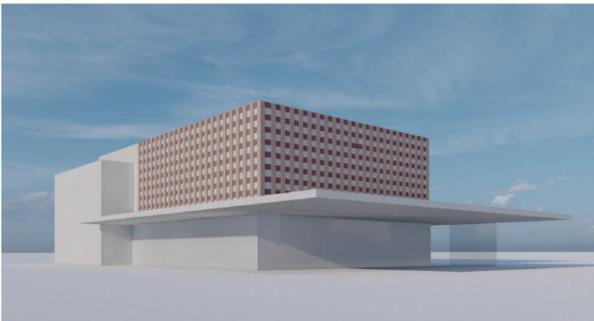
表情を与えるレンガタイル



## ホールの外観計画の検討過程

## 熊取町らしさを表現するデザイン

熊取町らしさを表現するホールとするため、熊取町の歴史や自然、文化をリサーチし外観デザインへの反映を試みる。  
 下記に歴史・自然・文化・産業というキーワードから抽出される要素を示し、その要素を生かすことで生まれる外観デザインを4パターン提示する。

	歴史	自然	文化	産業
キーワード	<p>○中家住宅 大屋根による外観デザインや、茅葺屋根と瓦葺屋根の切り替えが特徴的。</p> 	<p>○隈取られた地形 熊取町の名前の由来…周囲を山地、丘陵でクマドリ(ぼかしや濃淡を入れる日本画の表現技法)された谷、あるいは盆地地形とされる</p> 	<p>○だんじり 正面から見ると足元から大屋根まで大きく4層の構成。 大屋根と小屋根が組み合わさった構成。</p> 	<p>○綿業が盛んなまち 熊取町の中心産業として発展してきた織物業。 煉瓦館…主要産業であった綿業を支えていた綿布工場</p> 
ダイアグラム	<p>ダイナミックな屋根の操作</p>  <p>1枚の大屋根</p>	<p>境界線をぼかす操作</p>  <p>ヤブてくまひる</p>	<p>ボリュームの構成を模倣</p>  <p>大屋根、小屋根</p>	<p>織物のパターンを参照</p>  <p>自由な織り方も 模した外観</p>
イメージ案	<p>大屋根案</p>  <p>・ホール周囲に一枚の大屋根を架けるダイナミックな案 ・ギャラリー部分の体積が増えコスト増 ・大屋根は車寄せ庇としては機能しにくい</p>	<p>屋根クマドリ案(片流れ)</p>  <p>・屋根を細かくする分節することで建物の存在をぼかす ・ホール部分を片流れとすると体積が増え、コスト増 ・ホール内の気積に偏りが生まれ音響性能 down</p>	<p>大屋根・小屋根案</p>  <p>・切妻型を強調したデザイン ・ホール部分を切妻とすると体積が元案よりも大きくなる ・ホール部分はRC躯体の上に金属屋根を葺くためコスト増</p>	<p>織物調案</p>  <p>・織物のパターンをベースとし、様々なイメージの表現ができる案 ・面積増、体積増等はない ・化粧型枠等を使用するためコスト増</p>
原案との比較	<p>原案と比較すると <b>4000万円</b> UP</p>	<p>原案と比較すると <b>5500万円</b> UP</p>	<p>原案と比較すると <b>4000万円</b> UP</p>	<p>原案と比較すると <b>1000万円</b> UP</p>

外観計画について（公民館）

既存施設の特徴を活かすとともに、町民の活動が表出する外観計画

- ・既存の公民館棟の外観デザインを活かした計画とすることによって、熊取町らしさを表現するとともに、施設内で行われる文化・活動が外観に表出する計画とする

歴史

既存施設の特徴を活かした  
水平基調のデザイン

文化

庇のデザインによる  
ホール棟との一体性のある外観  
階段状のテラスによって  
文化や活動が表出する外観

自然

だんだん状のテラスによって  
建物の輪郭をぼかし、  
屋内外の一体的な利用を促進

上記の要素を用いて下記を表現

既存施設の特徴を  
活かすこと

ホールとの  
一体的なデザイン

施設コンセプト

熊取町らしさ 「人・活動・文化がまじわる はぐくむ つむぐ場」 にぎわいの場

水平基調のデザイン



車寄せ庇の設置によって、  
既存施設の水平基調のデザインを強調

ホールとの一体感



水平性を強調する庇によって  
公民館とホールの一体感を表現

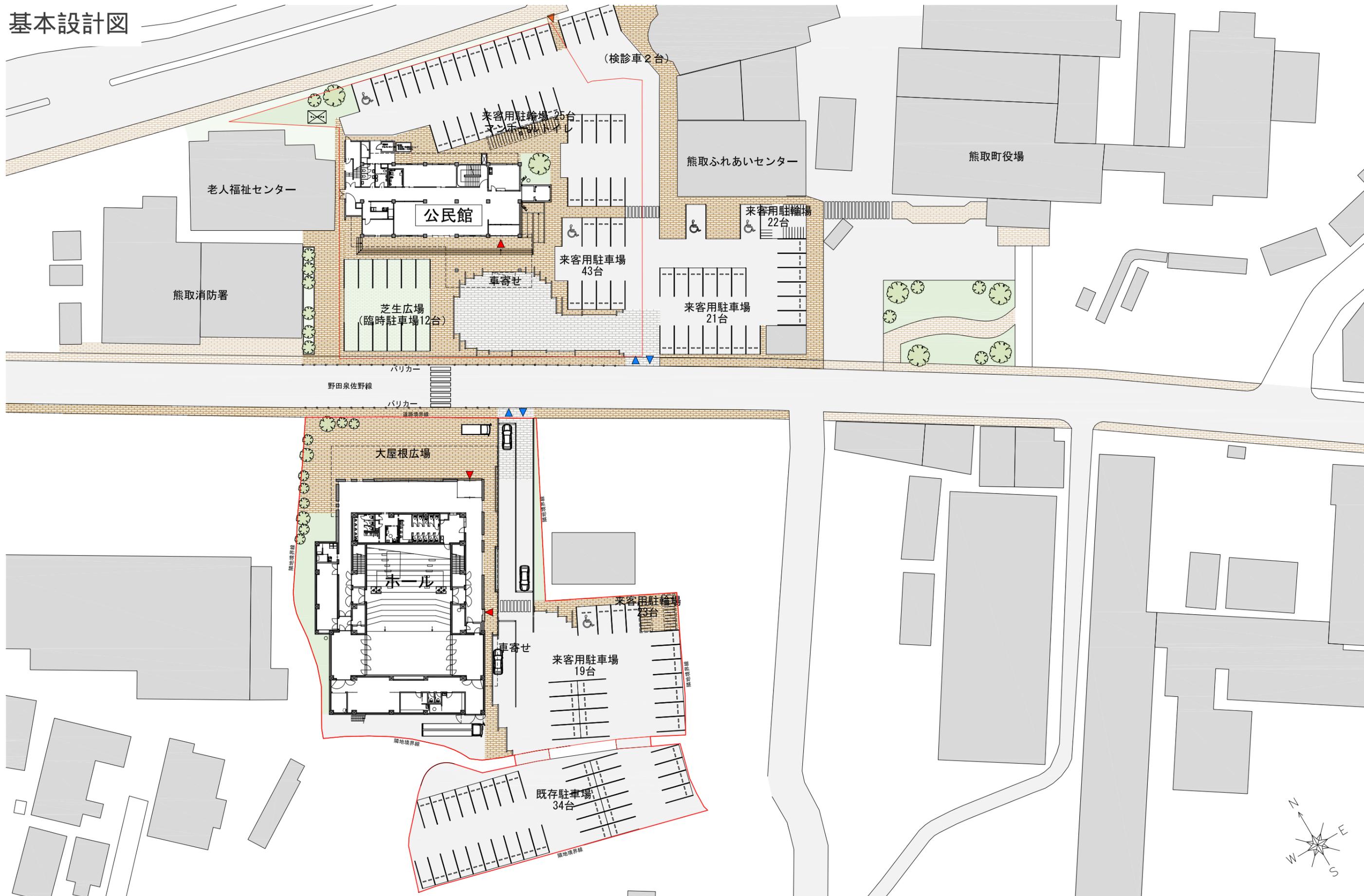
活動や文化がまじわる にぎわいの場



だんだん状のテラスの設置により  
屋内外の一体的な利用を促進

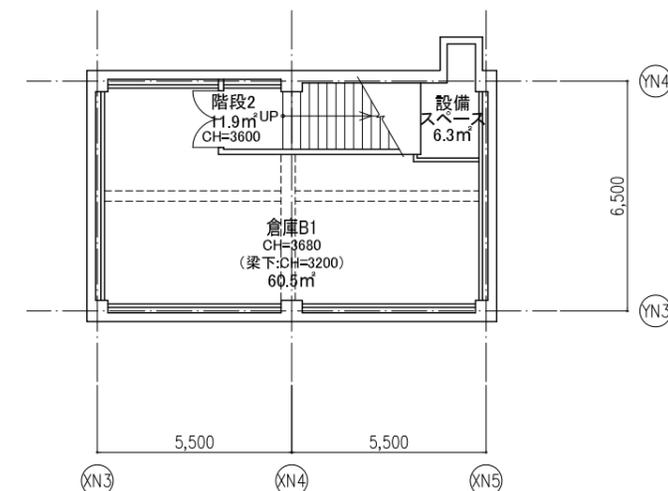
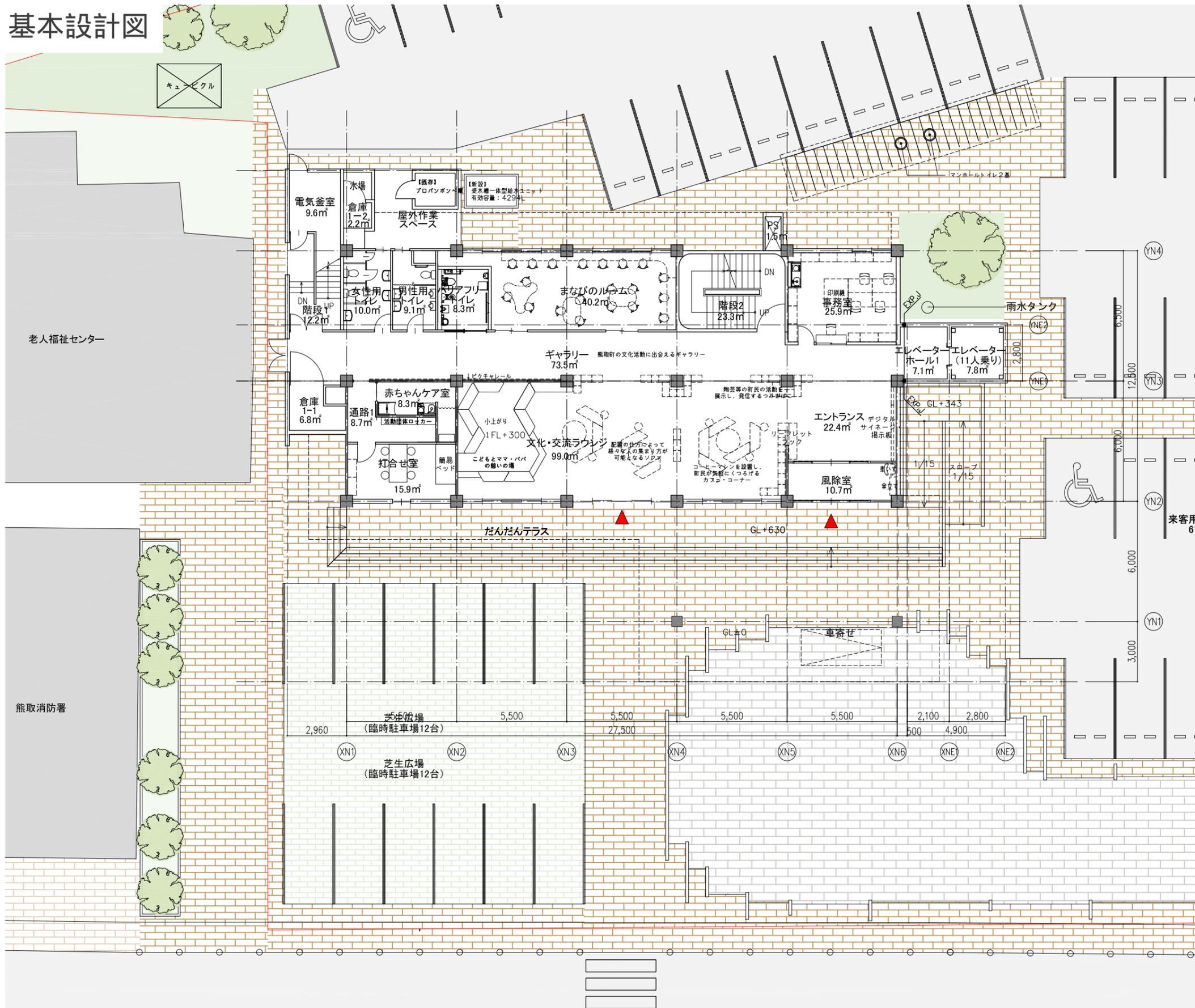


# 基本設計図



配置図兼1階平面図 S:1/600 (A3)

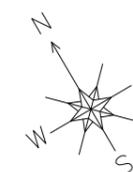
基本設計図



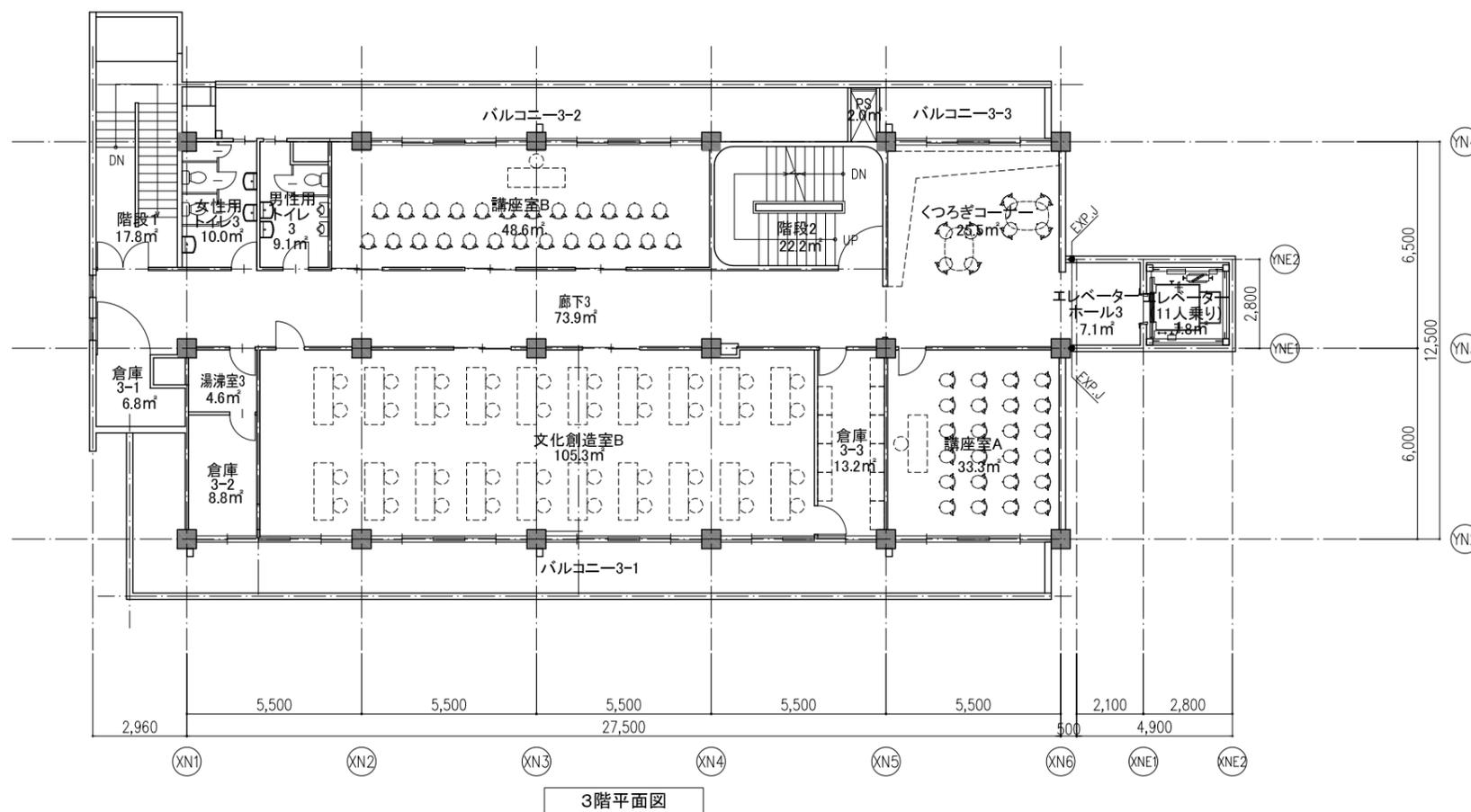
地階平面図

階室名	面積 (m <sup>2</sup> )
文化・交流ラウンジ	99.0
まなびのルーム	40.2
事務室	25.9
風除室	10.7
エンタランス	22.4
ギャラリー	73.5
赤ちゃんケア室	8.3
女性用トイレ1	10.0
男性用トイレ1	9.1
バリアフリートイレ	8.3
打合せ室	15.9
通路1	8.7
倉庫1-1	6.8
倉庫1-2	2.2
階段1	12.2
階段2	23.3
電気釜室	9.6
エレベーターホール1	7.1
エレベーター	7.8
PS等 (ダクトスペース類)	1.5
合計	402.5

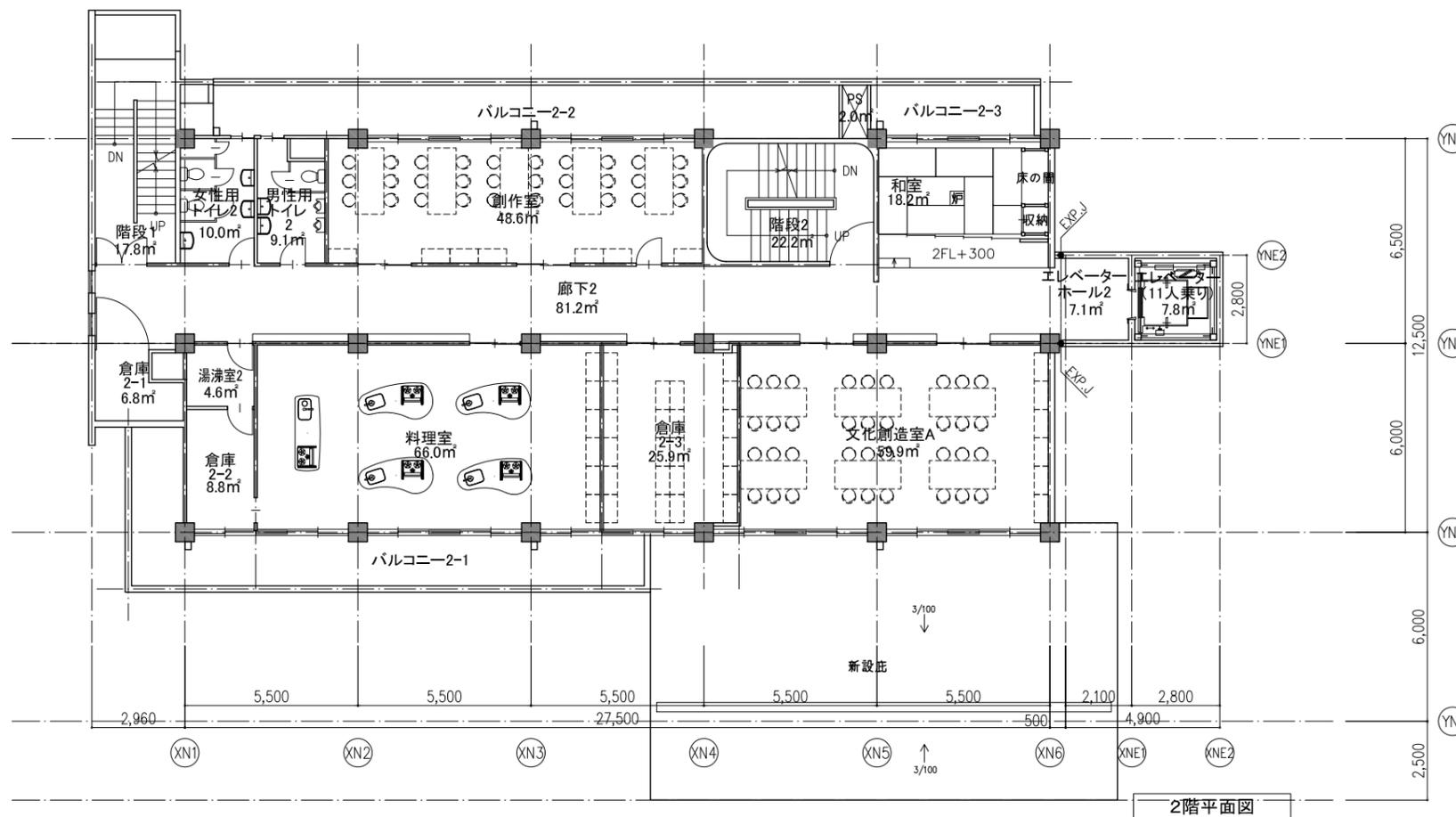
階室名	面積 (m <sup>2</sup> )
倉庫B1	60.5
階段2	11.9
設備スペース	6.3
合計	78.7



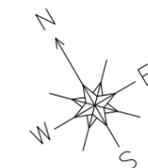
# 基本設計図



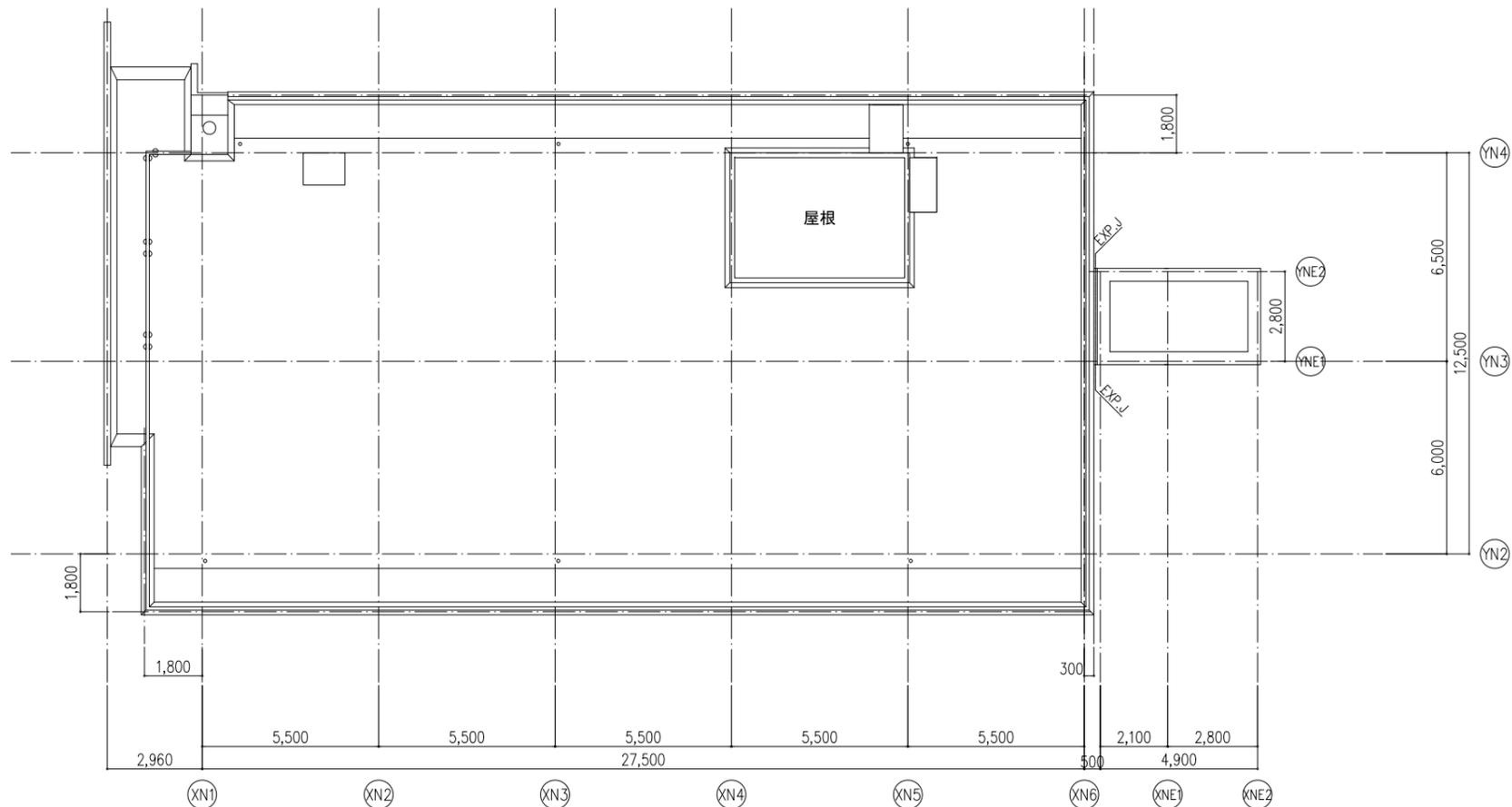
諸室名	面積 (㎡)
講座室A	33.3
講座室B	48.6
文化創造室B	105.3
くつろぎコーナー	25.5
廊下3	73.9
女性用トイレ3	10.0
男性用トイレ3	9.1
倉庫3-1	6.8
倉庫3-2	8.8
倉庫3-3	13.2
湯沸室3	4.6
階段1	17.8
階段2	22.2
エレベーターホール3	7.1
エレベーター	7.8
PS等 (ダクトスペース類)	2.0
合計	396.0



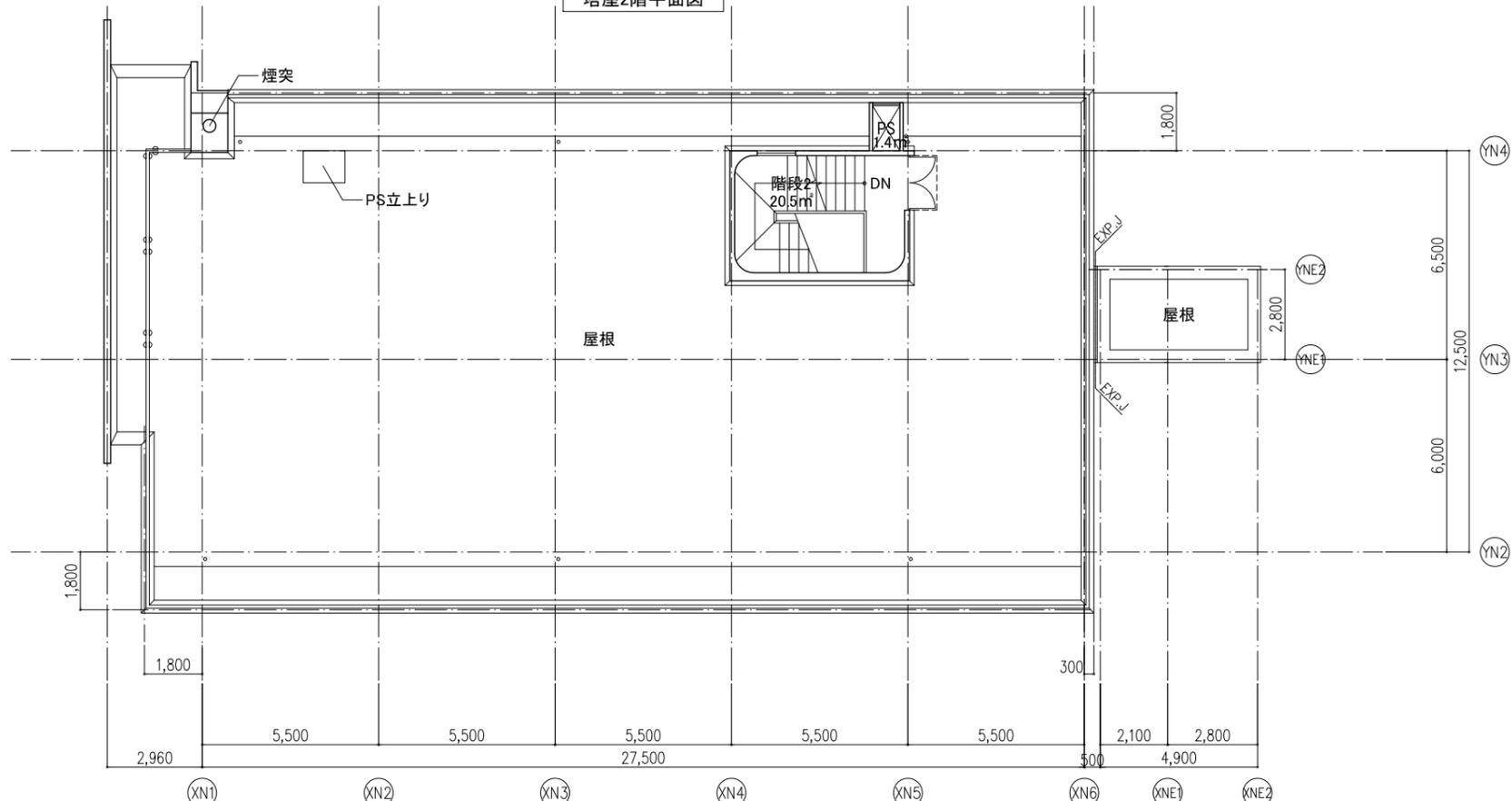
諸室名	面積 (㎡)
文化創造室A	59.9
創作室	48.6
料理室	66.0
和室	18.2
廊下2	81.2
湯沸室2	4.6
女性用トイレ2	10.0
男性用トイレ2	9.1
倉庫2-1	6.8
倉庫2-2	8.8
倉庫2-3	25.9
階段1	17.8
階段2	22.2
エレベーターホール2	7.1
エレベーター	7.8
PS等 (ダクトスペース類)	2.0
合計	396.0



基本設計図

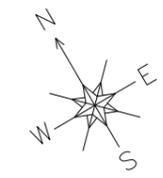


塔屋2階平面図

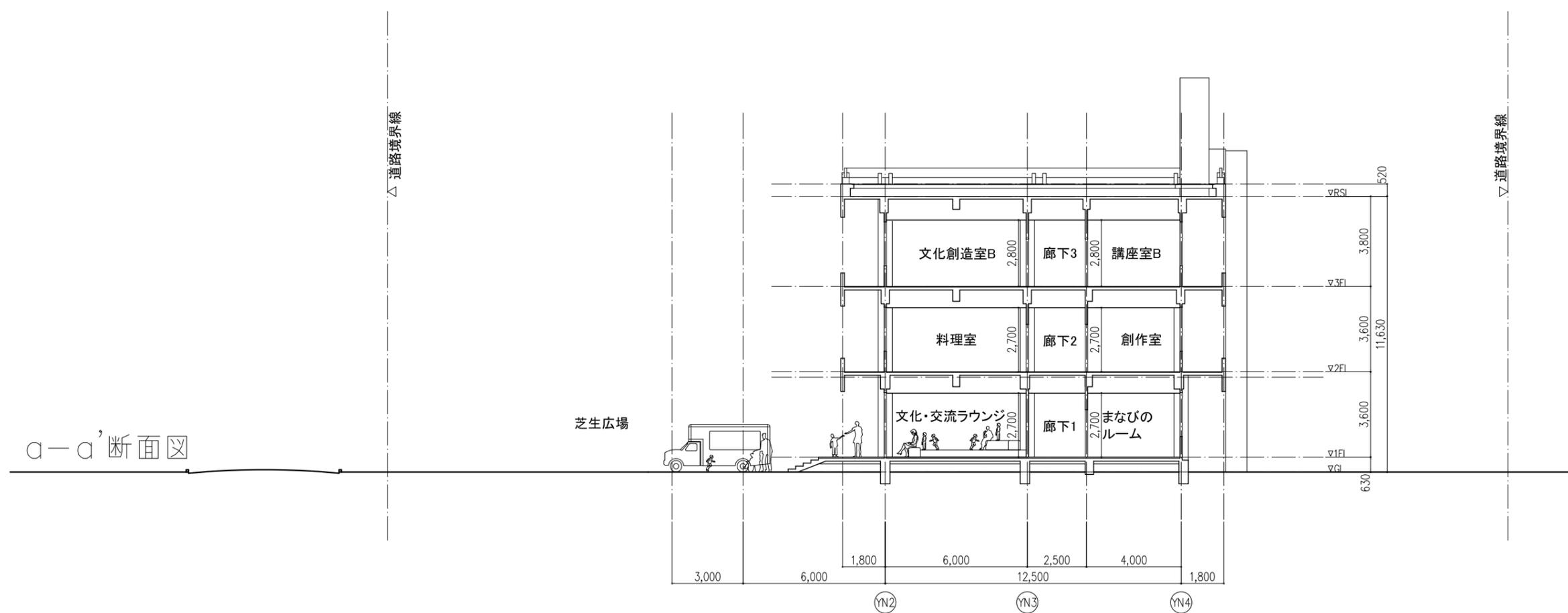


塔屋1階平面図

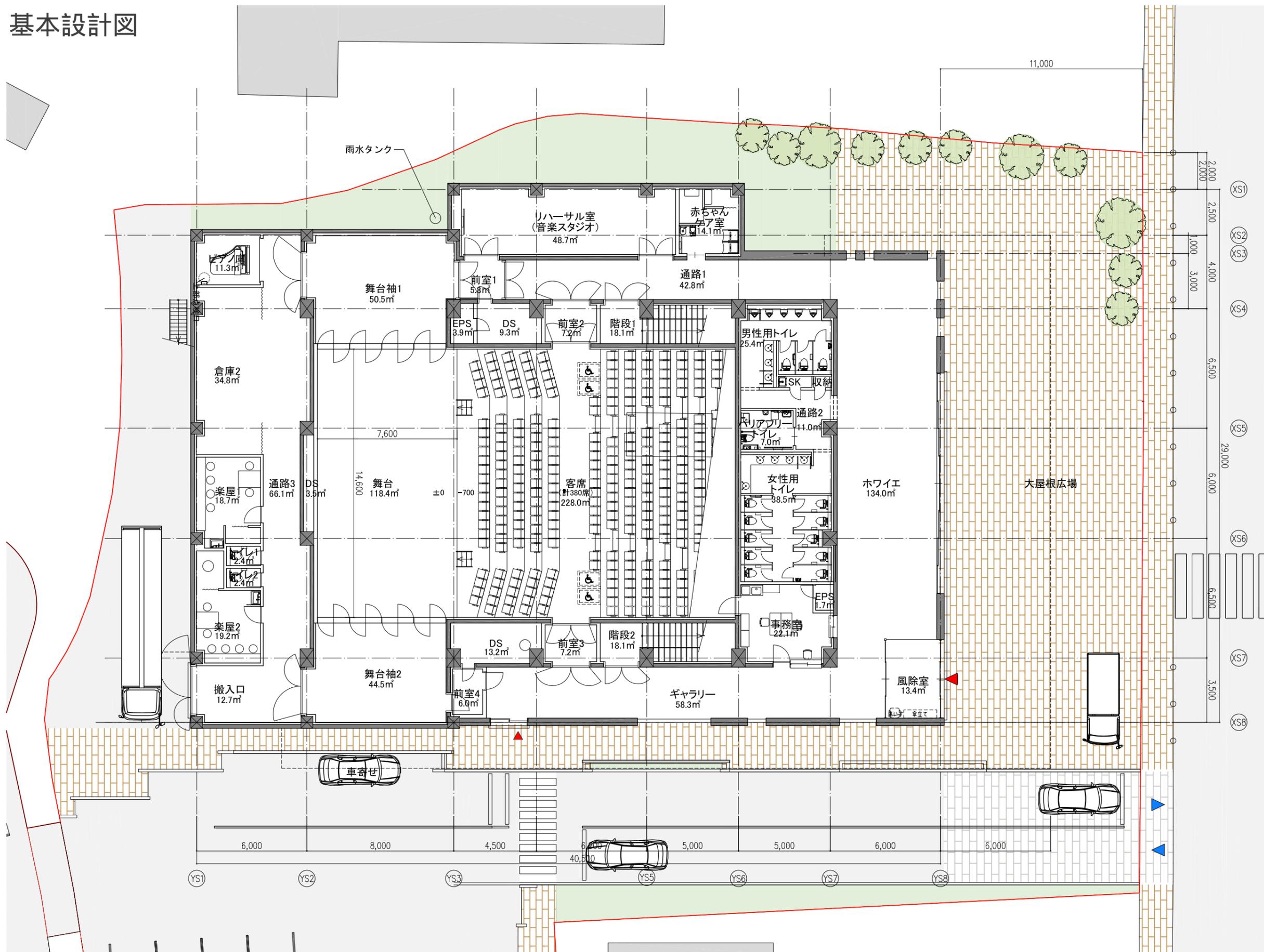
諸室名	面積 (㎡)
階段2	20.5
PS等 (ダクトスペース類)	1.4
合計	21.9



## 基本設計図



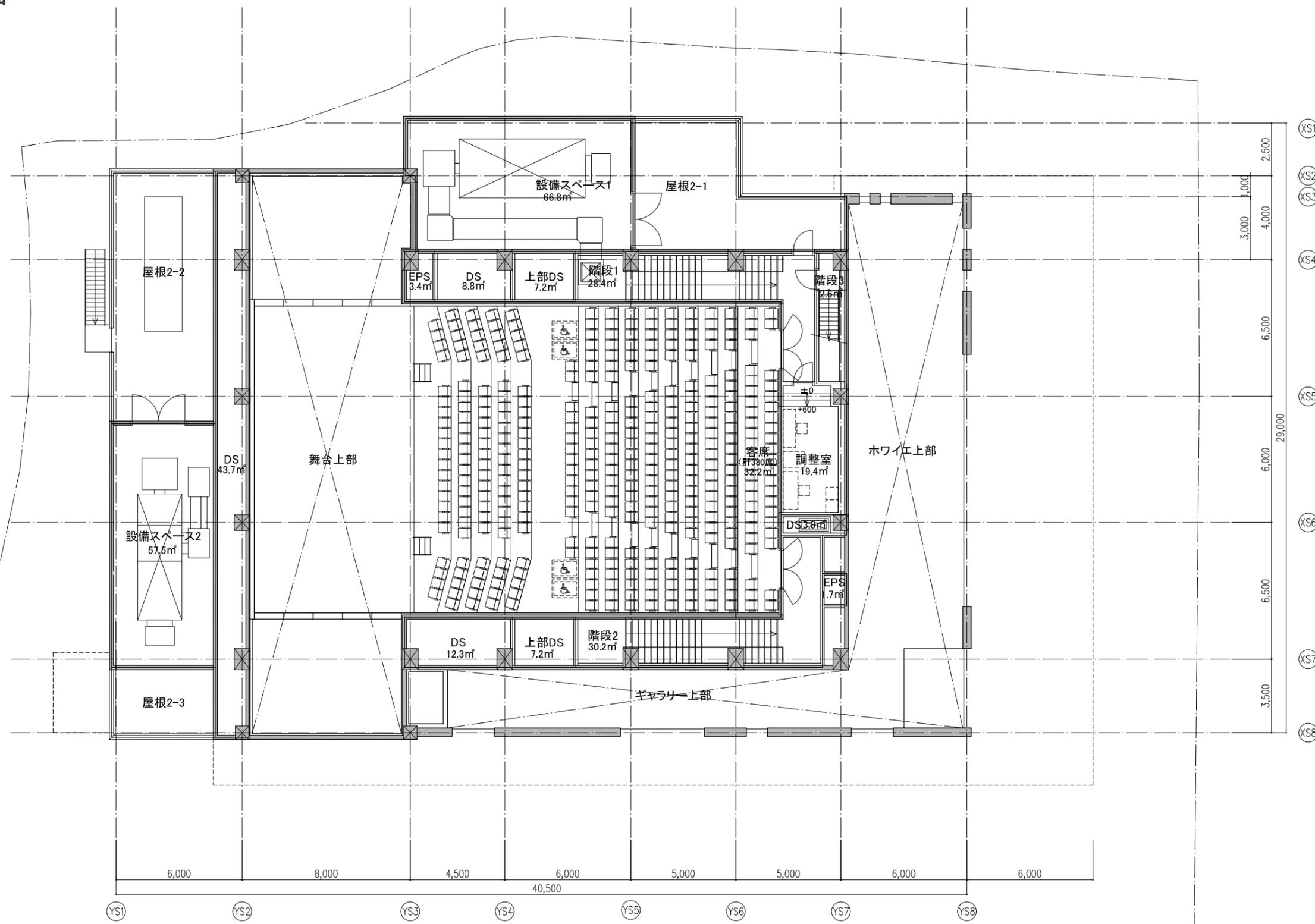
基本設計図



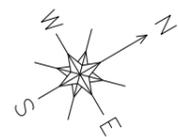
諸室名	面積 (㎡)
ホワイエ	134.0
ギャラリー	58.3
客席	228.0
舞台	118.4
舞台袖1	50.5
舞台袖2	44.5
リハーサル室(音楽スタジオ)	48.7
事務室	22.1
風除室	13.4
通路1	42.8
通路2	11.0
通路3	66.1
階段1	18.1
階段2	18.1
前室1	5.8
前室2	7.2
前室3	7.2
前室4	6.0
赤ちゃんケア室	14.1
男性用トイレ	25.4
女性用トイレ	38.5
バリアフリースペース	7.0
ピアノ庫	11.3
倉庫2	34.8
楽屋1	18.7
楽屋2	19.2
トイレ1	2.4
トイレ2	2.4
搬入口	12.7
EPS・DS等	31.6
合計	1,118.3

ホール1階平面図 S:1/200 (A3)

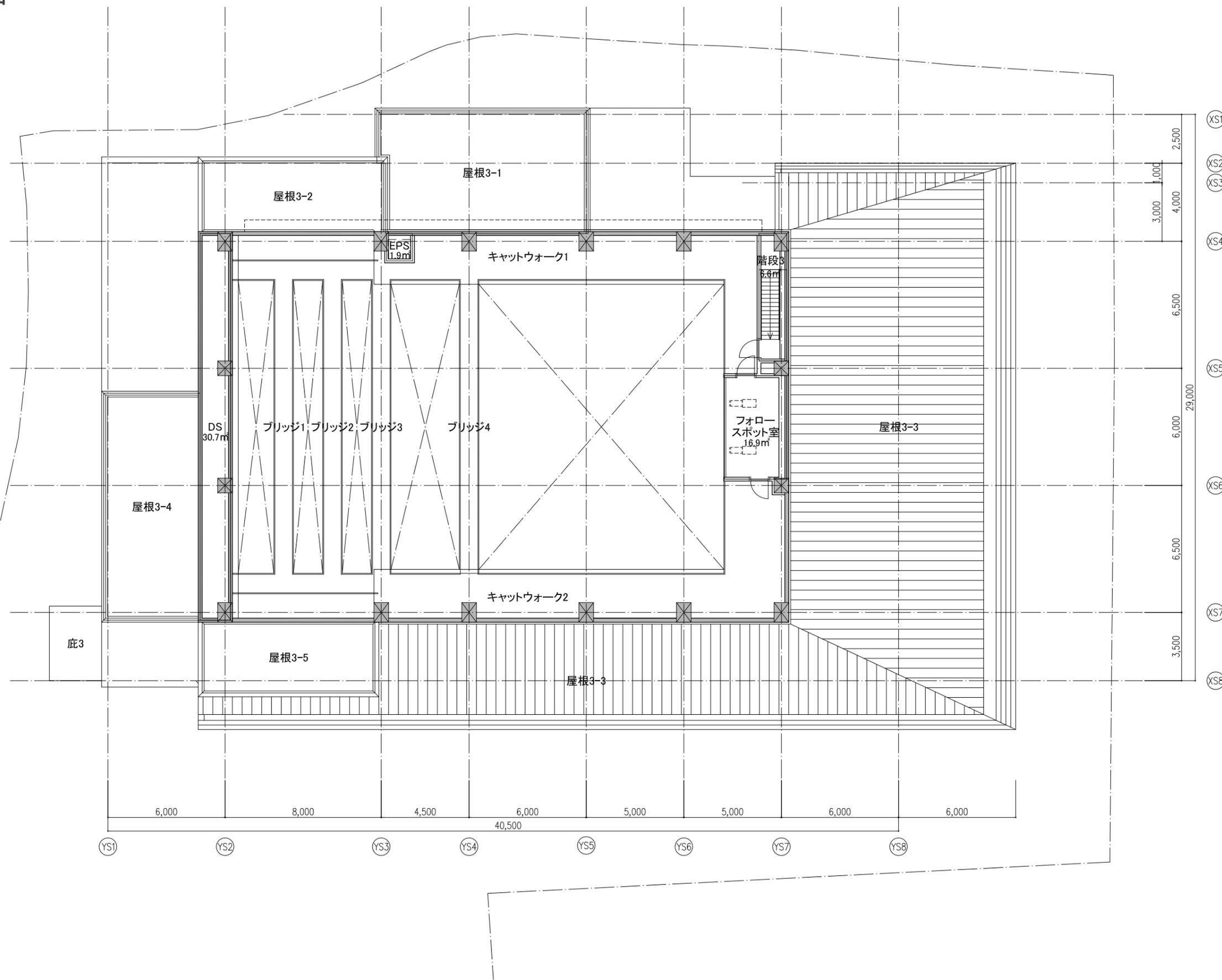
基本設計図



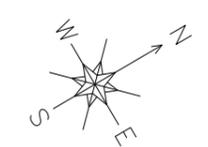
階室名	面積 (㎡)
客席	32.2
階段1	28.4
階段2	30.2
階段3	2.6
調整室	19.4
設備スペース1	66.8
設備スペース2	57.5
DS・EPS等 (ダクトスペース)	87.3
合計	324.4



基本設計図

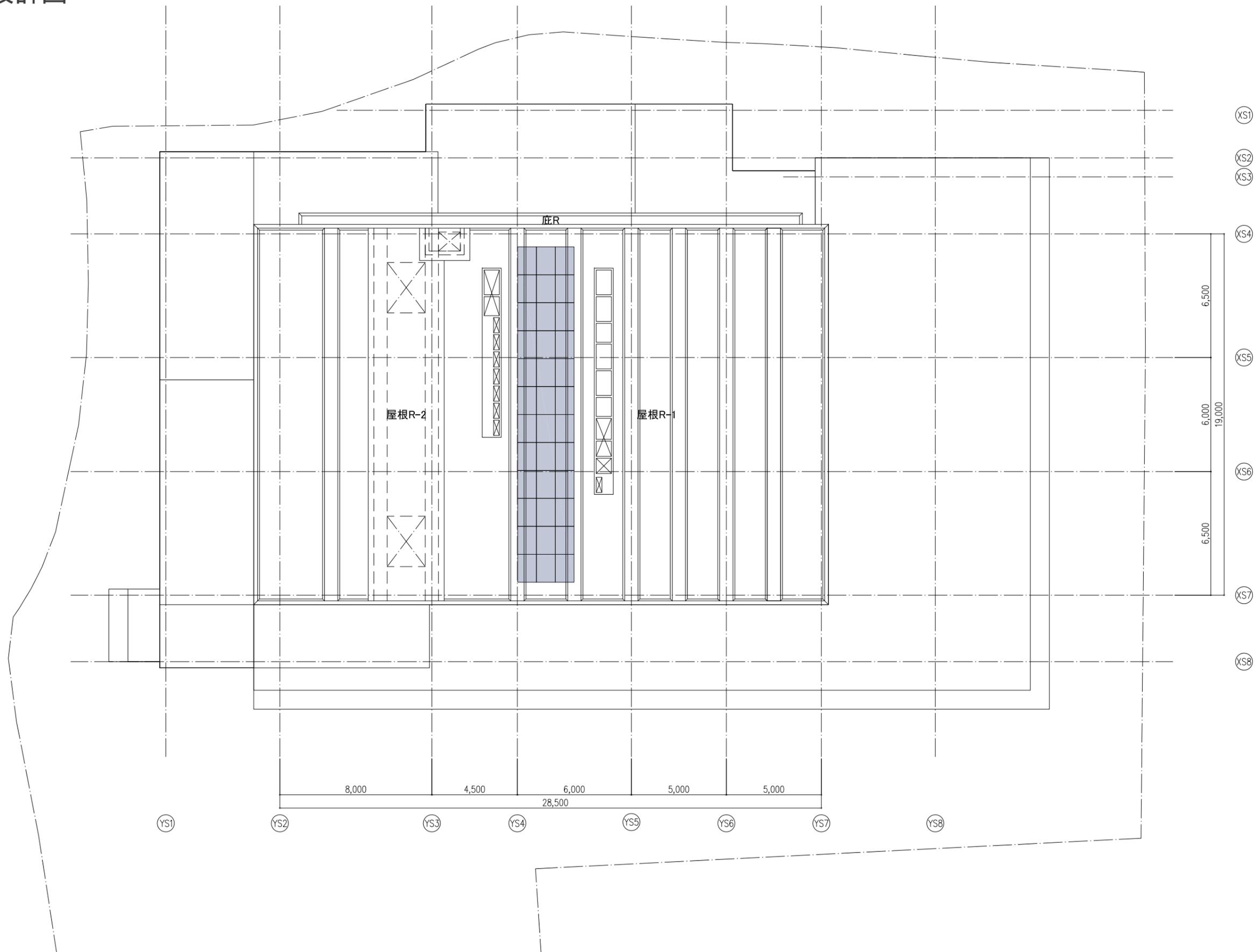


階室名	面積 (㎡)
階段3	6.6
フォロー スポット室	16.9
DS・EPS等 (ダクトスペース)	32.6
合計	56.1



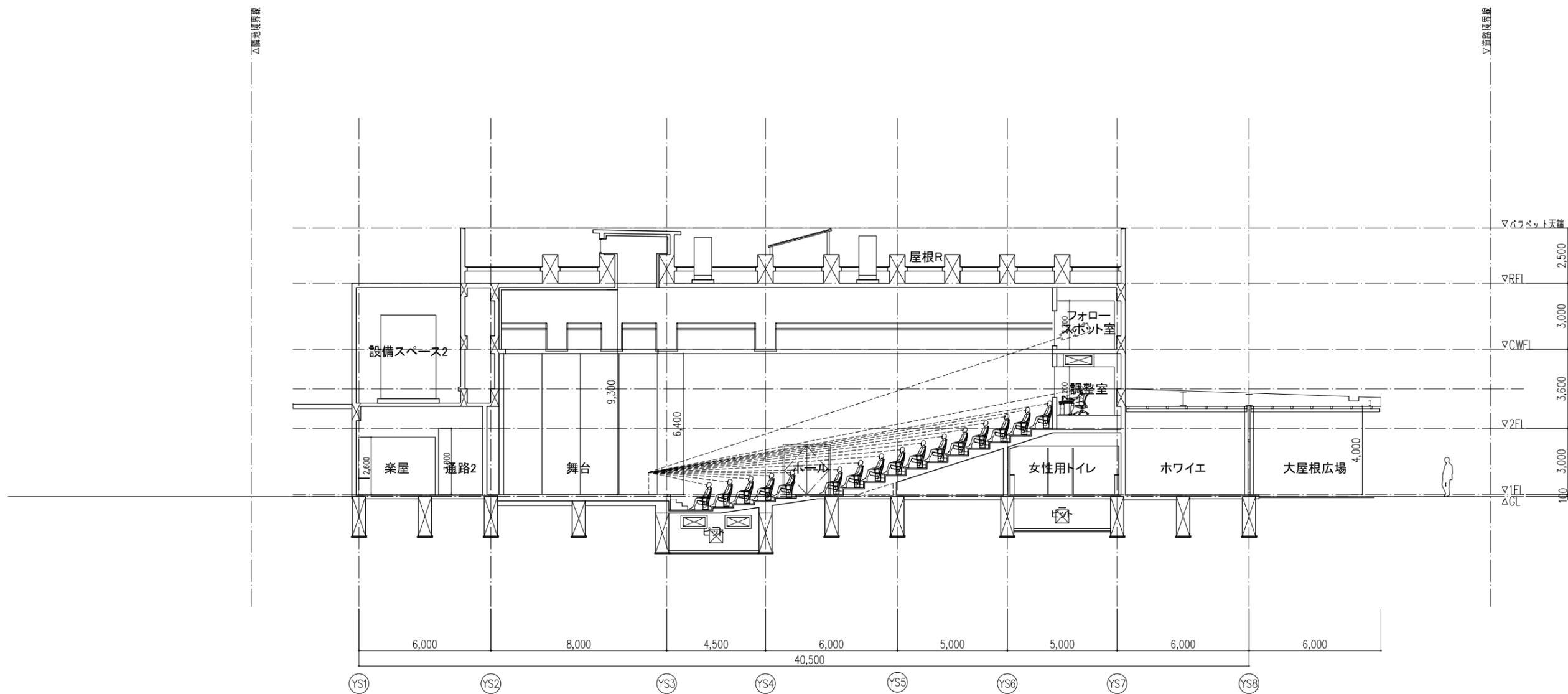
CWL 平面図 S:1/200 (A3)

# 基本設計図



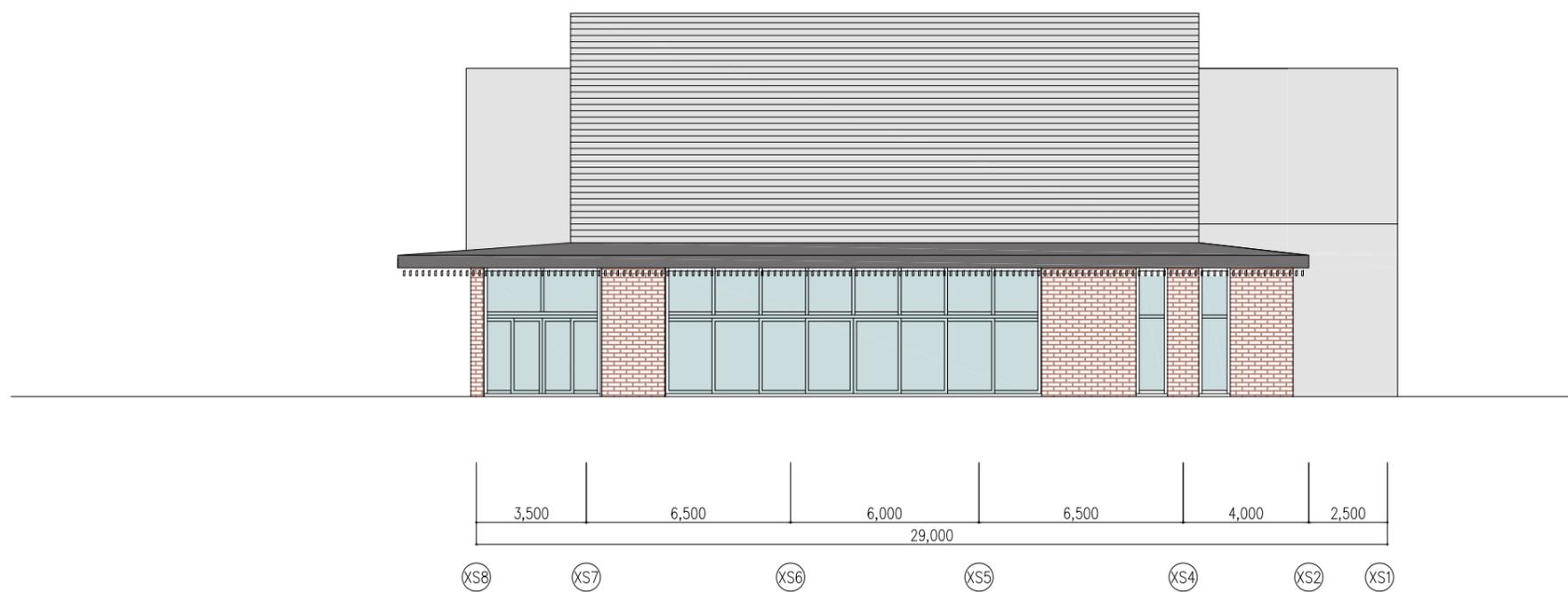
屋根伏図 S:1/200 (A3)

# 基本設計図

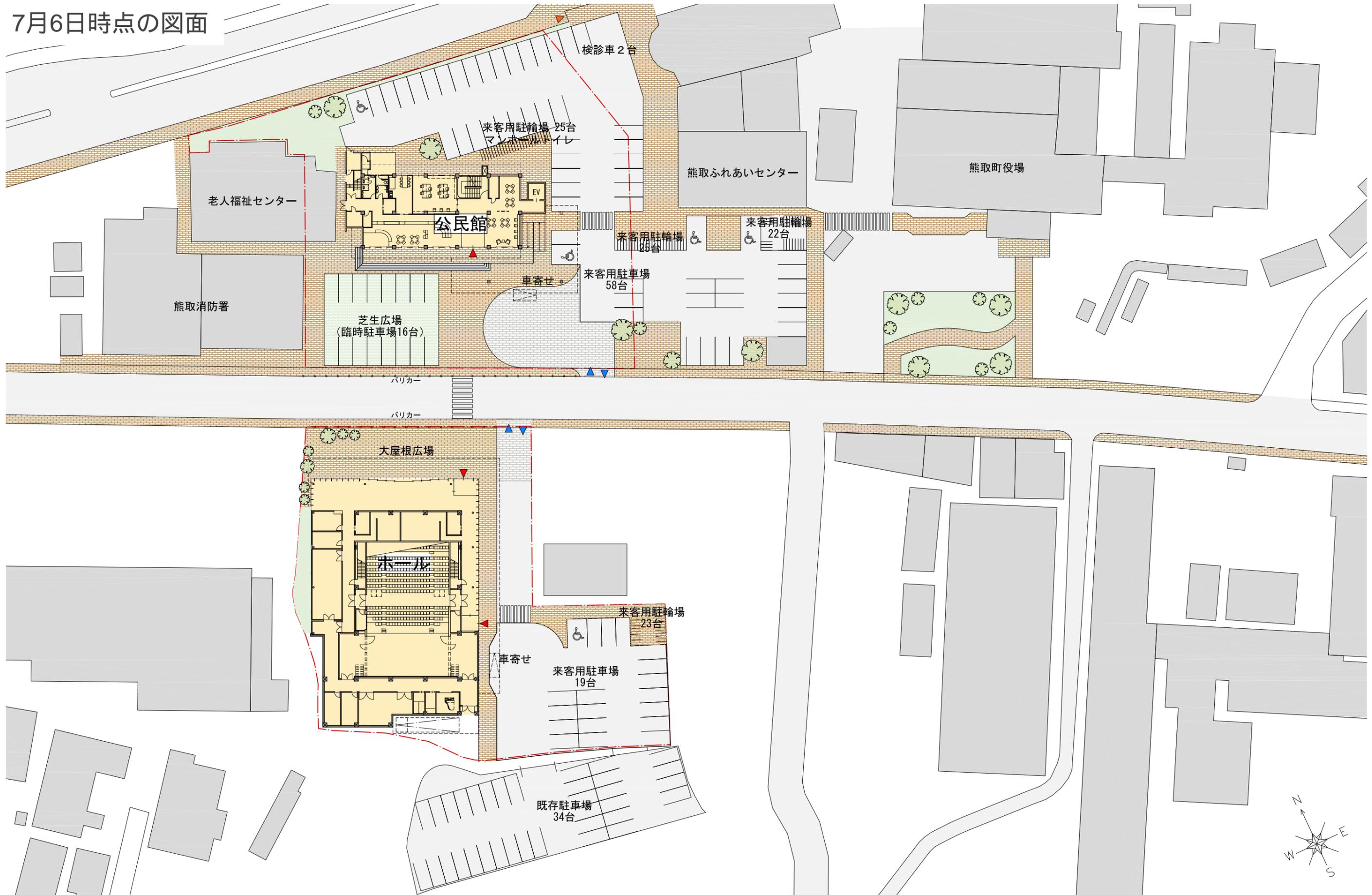


A断面図

## 基本設計図

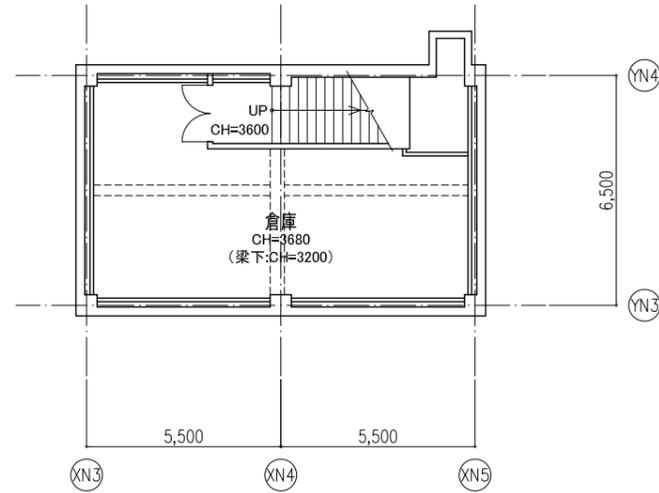


7月6日時点の図面

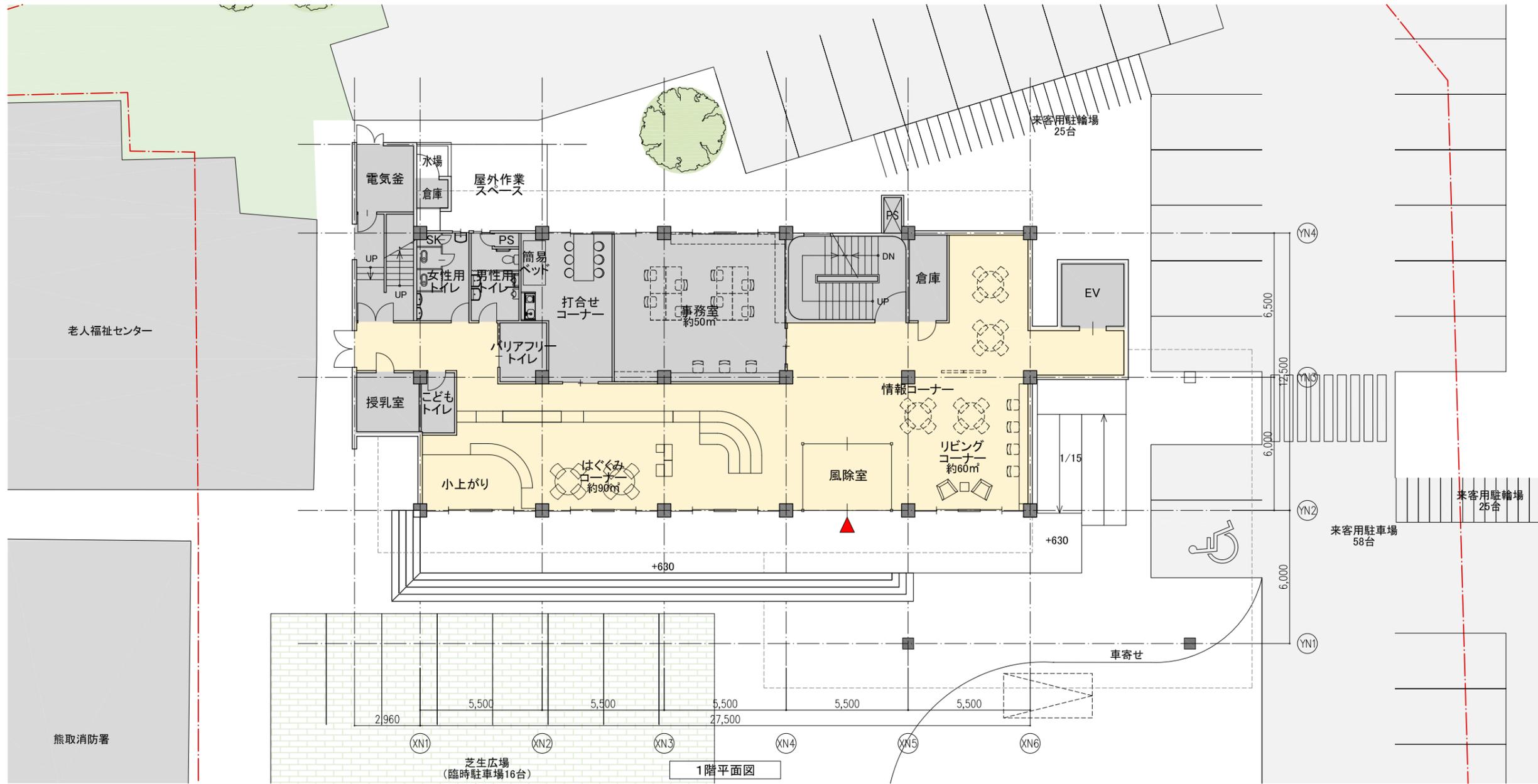


配置図兼1階平面図 S:1/600 (A3)

7月6日時点の図面

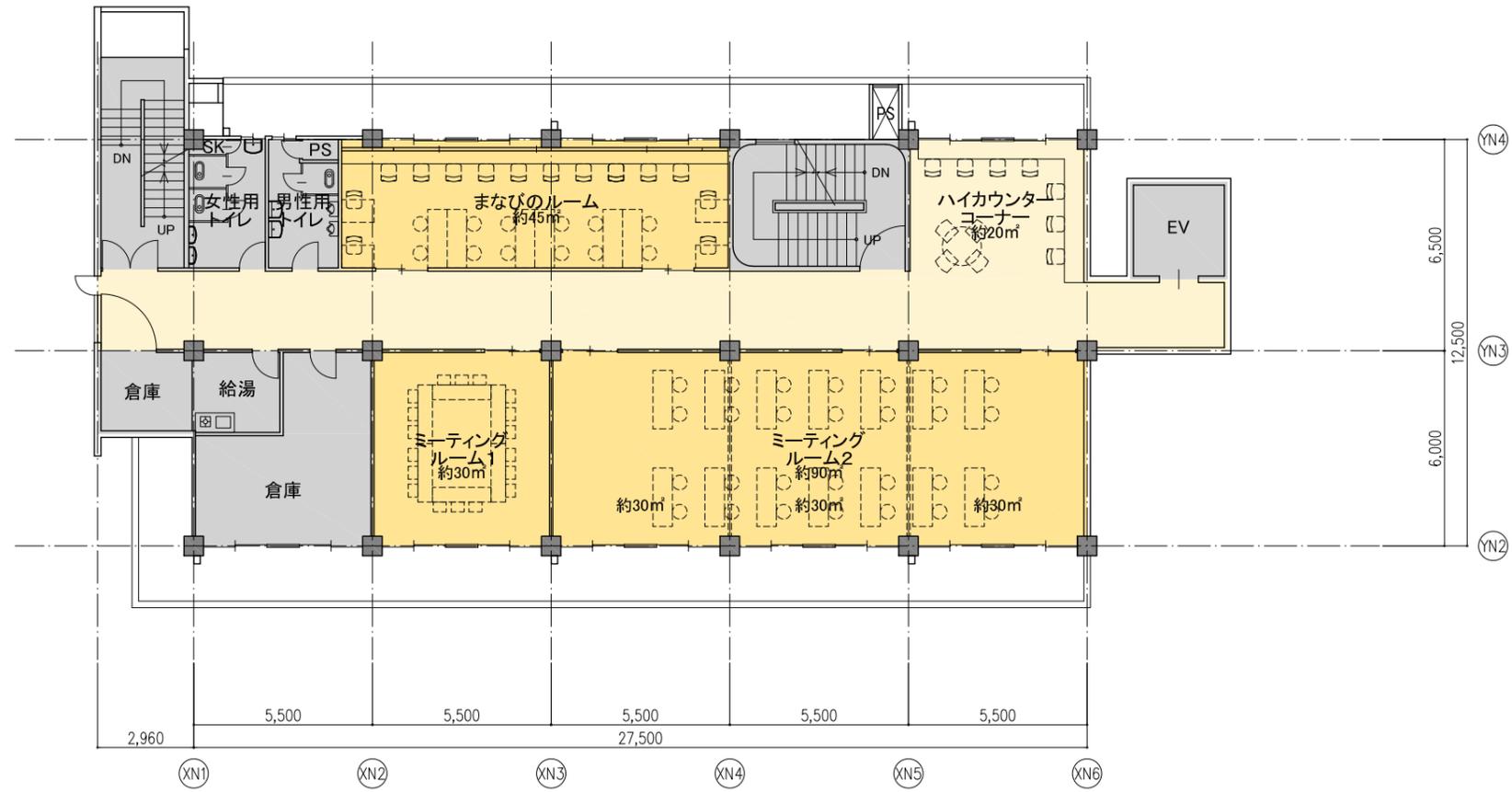


地階平面図

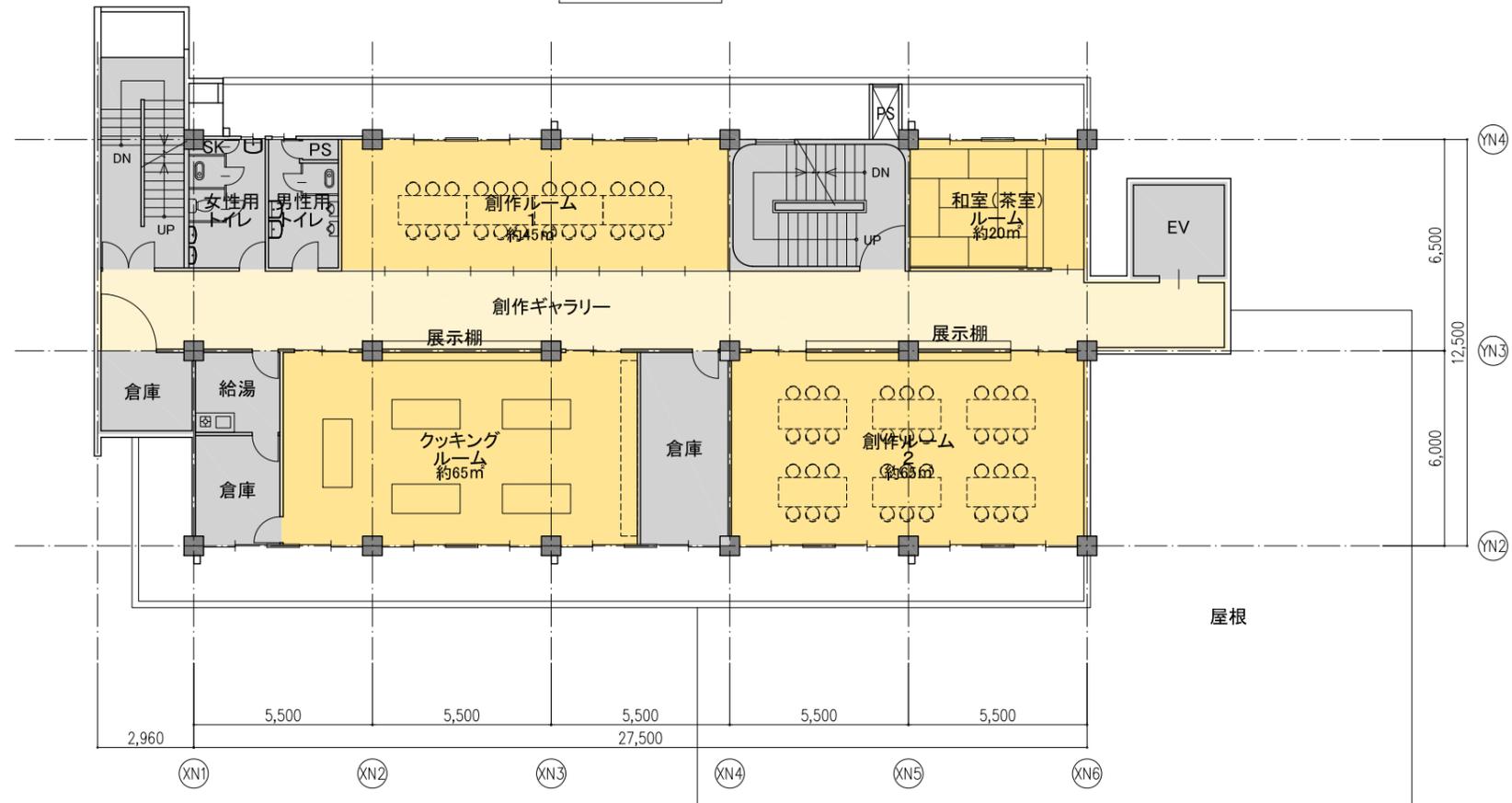


1階平面図

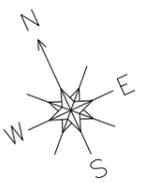
7月6日時点の図面



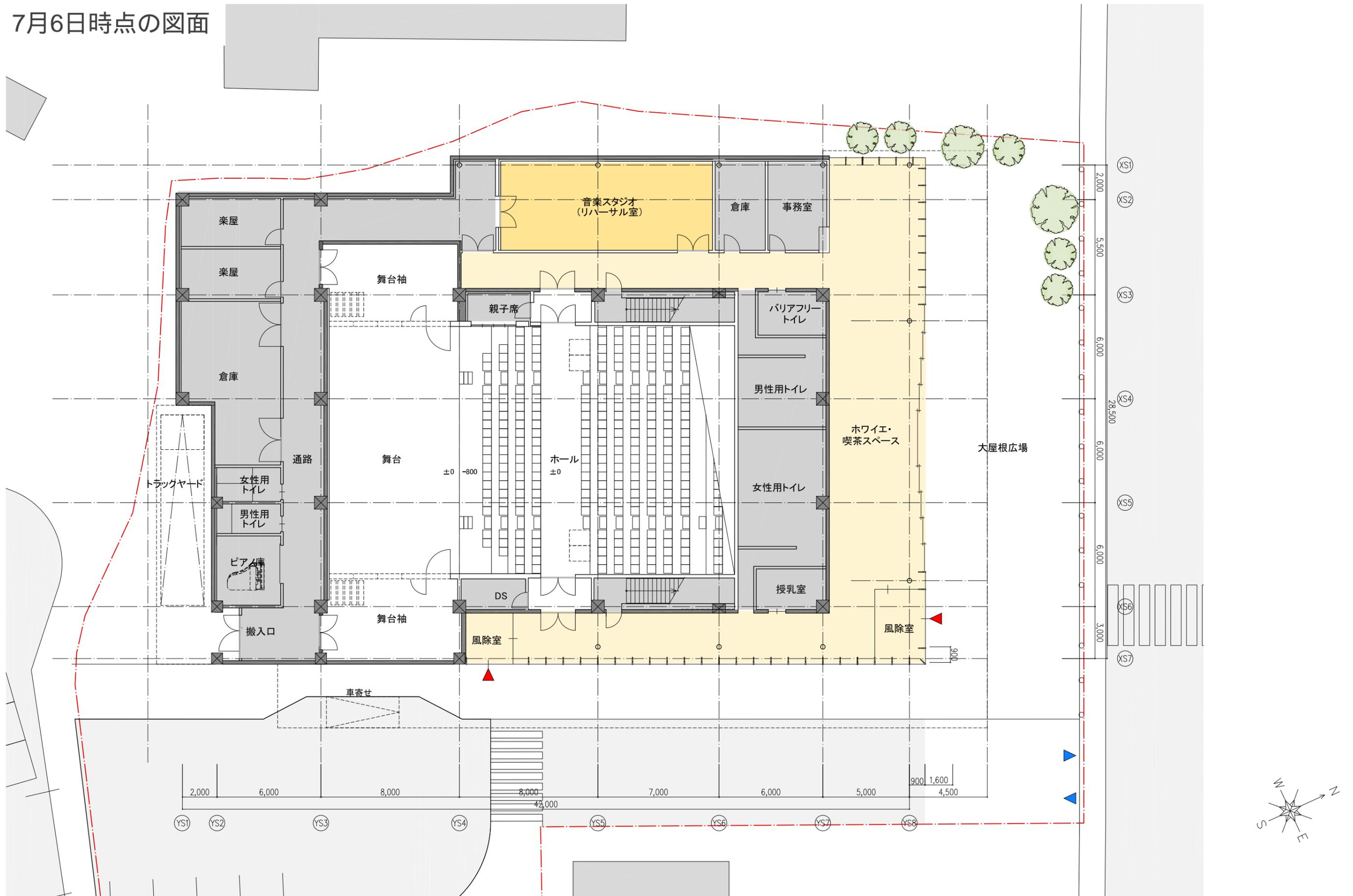
3階平面図



2階平面図

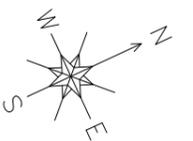
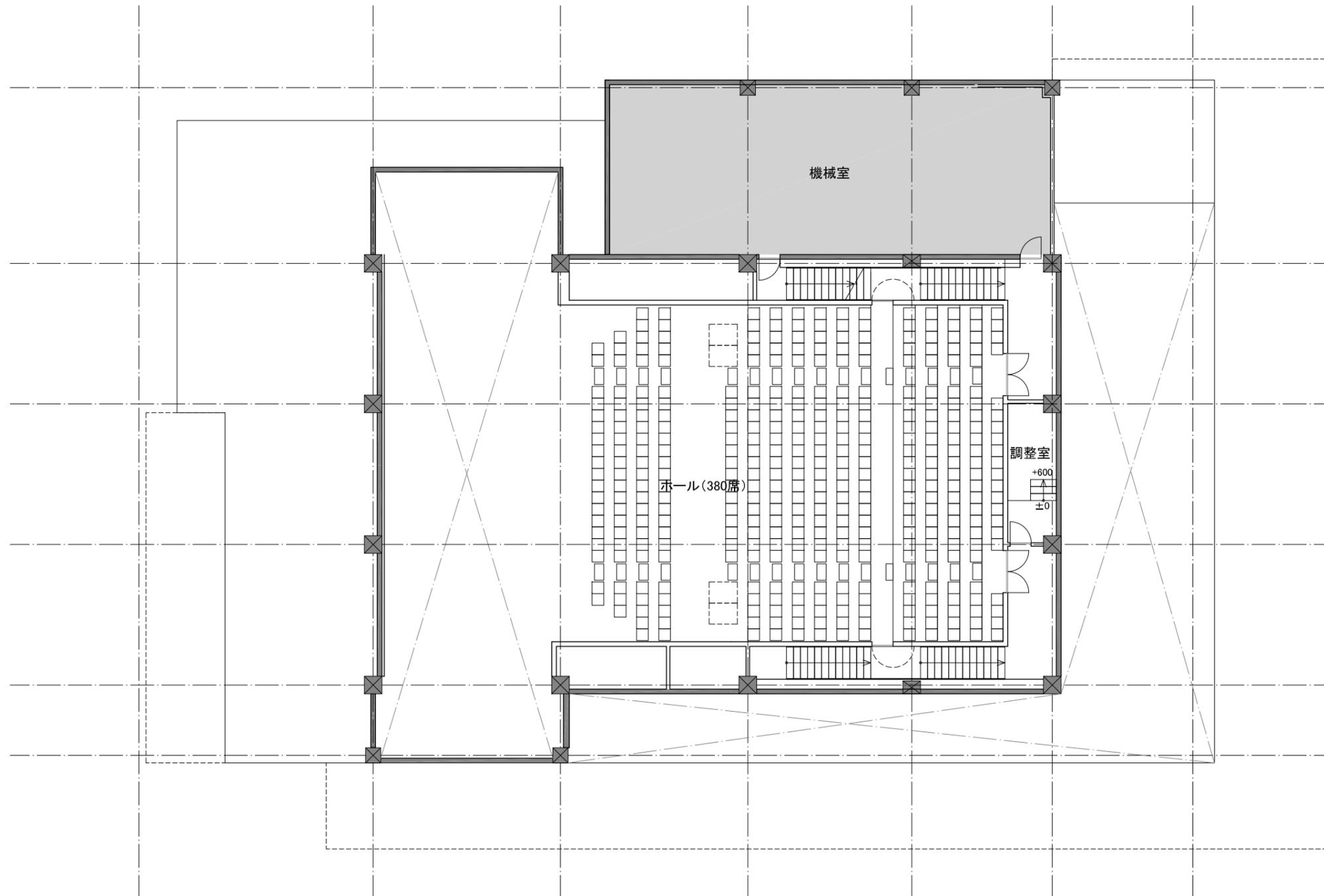


7月6日時点の図面



ホール1階平面図 S:1/200 (A3)

7月6日時点の図面



7月6日時点の図面

